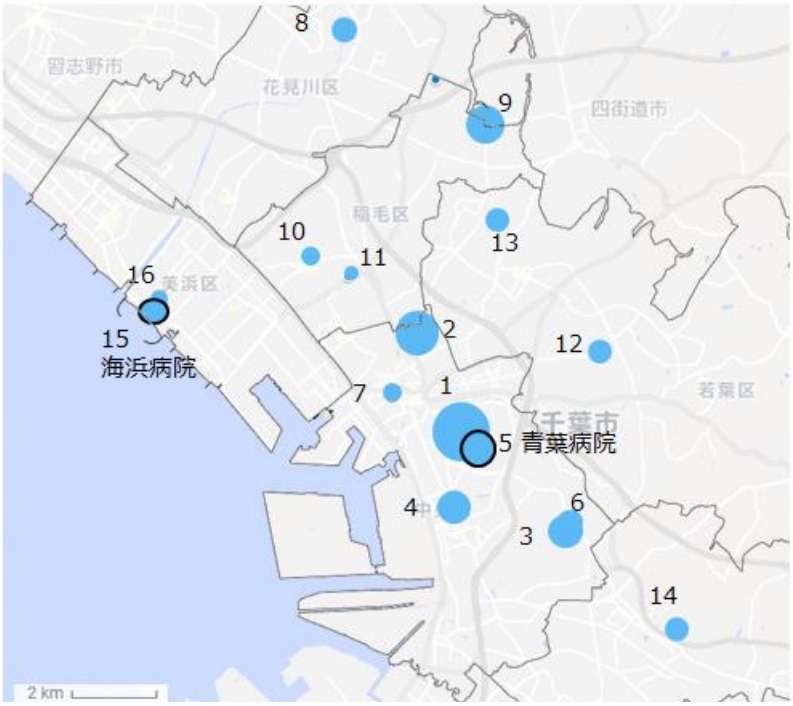
資　　料

1　図表

【図表 1】急性期病院の配置状況（高度急性期+急性期の病床数が 100 床以上の医療機関）



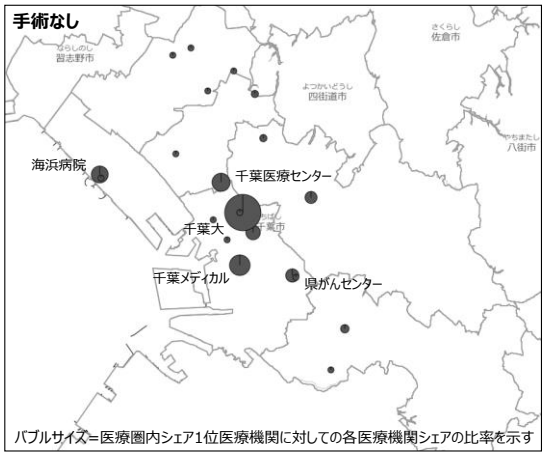
バブルサイズ=高度急性期+急性期の病床数

No	施設名称	病床数	所在区
1	千葉大学医学部附属病院	800 床	中央区
2	独立行政法人国立病院機構　千葉医療センター	410 床	中央区
3	千葉県がんセンター	341 床	中央区
4	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	315 床	中央区
5	千葉市立青葉病院	314 床	中央区
6	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	160 床	中央区
7	医療法人社団普照会 井上記念病院	125 床	中央区
8	医療法人社団有相会 最成病院	180 床	花見川区
9	医療法人社団翠明会 山王病院	308 床	稲毛区
10	稲毛病院	180 床	稲毛区
11	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院	100 床	稲毛区
12	医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター	212 床	若葉区
13	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	205 床	若葉区
14	千葉県こども病院	224 床	緑区
15	千葉市立海浜病院	287 床	美浜区
16	千葉県救急医療センター	100 床	美浜区

出典：2016 年「病床機能報告」より作成、地図データ©2018google, ZENRIN

【図表 2】ＭＤＣ別診療状況（退院患者ベース）

(1) MDC01～18（17 精神疾患除く）

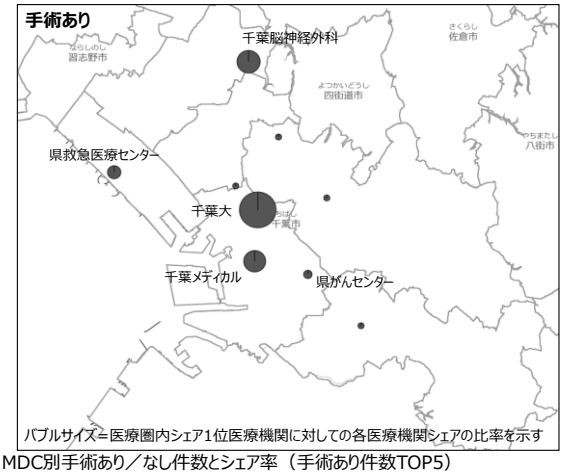


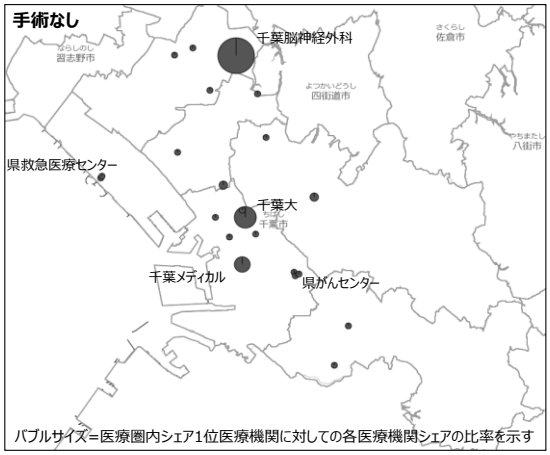
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC01～18（17精神疾患除く）

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	9,446	7,378	16,824	24.0%	17.6%	20.7%	皮膚系、内分泌系、呼吸器系のシェアが高い。
2	千葉メディカルセンター	5,163	4,248	9,411	13.1%	10.1%	11.6%	循環器系、外傷系、神経系のシェアが高い。
3	千葉医療センター	4,328	3,916	8,244	11.0%	9.3%	10.1%	眼科系、呼吸器系、消化器系のシェアが高い。
4	千葉市立海浜病院	2,720	3,605	6,325	6.9%	8.6%	7.8%	耳鼻咽喉科系、新生児系のシェアが高い。
5	千葉県がんセンター	3,007	2,835	5,842	7.6%	6.8%	7.2%	乳房系、呼吸器系、血液系のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	39,439	41,889	81,328	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	2,581	3,103	5,684	6.5%	7.4%	7.0%	（消化器系、腎・尿路系、呼吸器系を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	2,720	3,605	6,325	6.9%	8.6%	7.8%	耳鼻咽喉科系、新生児系のシェアが高い。

(2) MDC01　神経系疾患



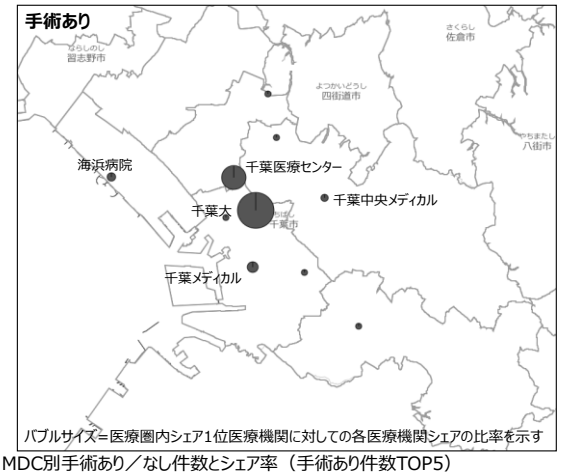


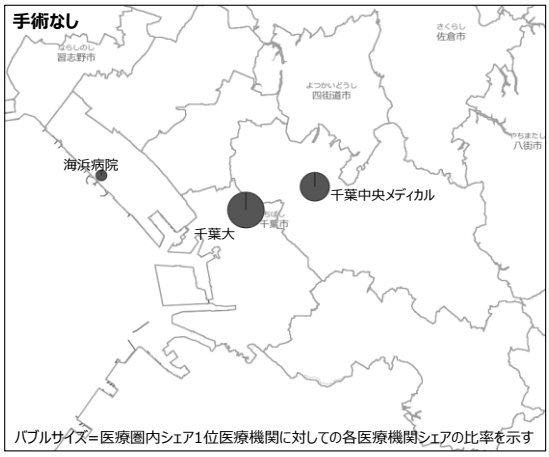
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC01 神経系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	271	690	961	28.8%	16.7%	18.9%	脳腫瘍、脳血管障害、パーキンソン病等のシェアが高い。
2	千葉脳神経外科病院	172	1,136	1,308	18.3%	27.4%	25.7%	脳梗塞、被害招請頭蓋内血腫、未破裂脳動脈瘤等のシェアが高い。
3	千葉メディカルセンター	170	495	665	18.0%	11.9%	13.1%	脳梗塞、被害招請硬膜下血腫のシェアが高い。
4	千葉県救急医療センター	107	176	283	11.4%	4.2%	5.6%	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤のシェアが高い。
5	千葉県がんセンター	65	118	183	6.9%	2.8%	3.6%	脳腫瘍のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	942	4,144	5,086	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	0	99	99	0.0%	2.4%	1.9%	（脳梗塞、てんかん、非外傷性頭蓋内血腫を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	0	120	120	0.0%	2.9%	2.4%	脳梗塞の感染を伴う炎症のシェアが高い。

(3) MDC02　眼科系疾患



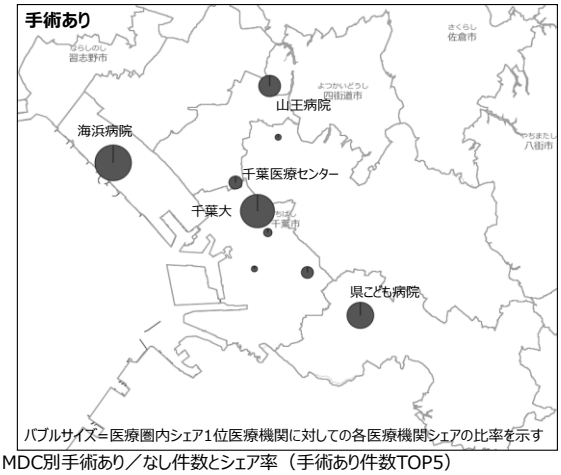


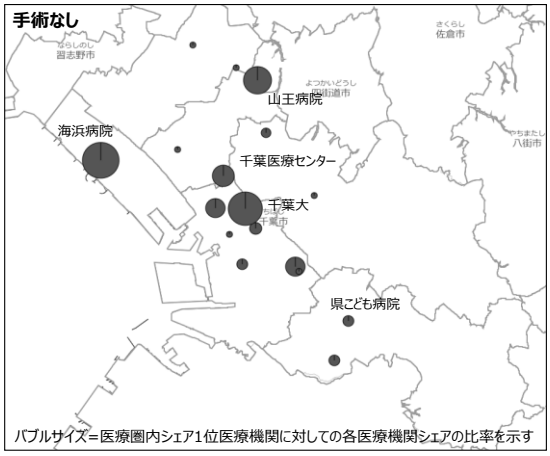
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC02　眼科系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	1,560	47	1,607	32.3%	46.5%	32.6%	網膜剥離、黄斑・後極編成、緑内障等のシェアが高い。
2	千葉医療センター	1,040	0	1,040	21.5%	0.0%	21.1%	白内障・水晶体の疾患のシェアが高い。
3	千葉メディカルセンター	472	0	472	9.8%	0.0%	9.6%	眼科下垂、眼瞼、涙器、眼窩の疾患等のシェアが高い。
4	千葉市立海浜病院	384	15	399	7.9%	14.9%	8.1%	（白内障、眼瞼下垂を主に受入。）
5	千葉中央メディカルセンター	347	39	386	7.2%	38.6%	7.8%	網膜血管閉塞症、糖尿病性増殖性網膜症等のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	4,831	101	4,932	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
-	千葉市立海浜病院	384	15	399	7.9%	14.9%	8.1%	（白内障、眼瞼下垂を主に受入。）

(4) MDC03　耳鼻咽喉科系疾患



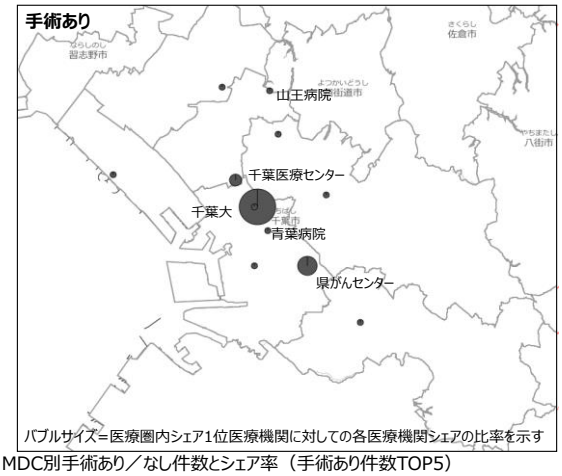


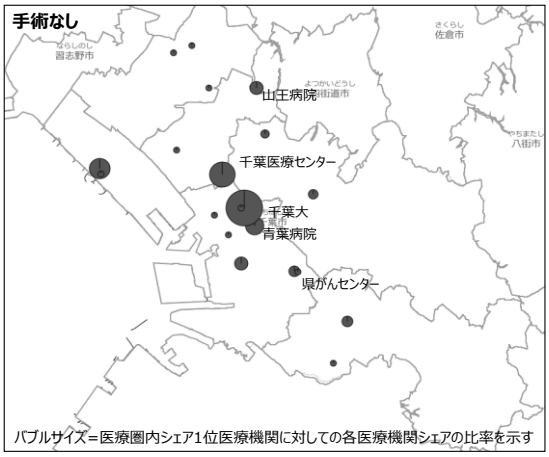
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC03　耳鼻咽喉科系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉市立海浜病院	286	276	562	22.6%	15.1%	18.2%	扁桃周囲膿瘍、滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞のシェアが高い。
2	千葉大学医学部附属病院	269	259	528	21.3%	14.2%	17.1%	頭頚部悪性腫瘍、耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍のシェアが高い。
3	千葉県こども病院	219	88	307	17.3%	4.8%	10.0%	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞等のシェアが高い。
4	山王病院	172	212	384	13.6%	11.6%	12.4%	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫のシェアが高い。
5	千葉医療センター	114	174	288	9.0%	9.5%	9.3%	顔面神経障害、耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	1,263	1,822	3,085	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	72	93	165	5.7%	5.1%	5.3%	顔面神経障害のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	286	276	562	22.6%	15.1%	18.2%	扁桃周囲膿瘍、滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞のシェアが高い。

(5) MDC04　呼吸器系疾患



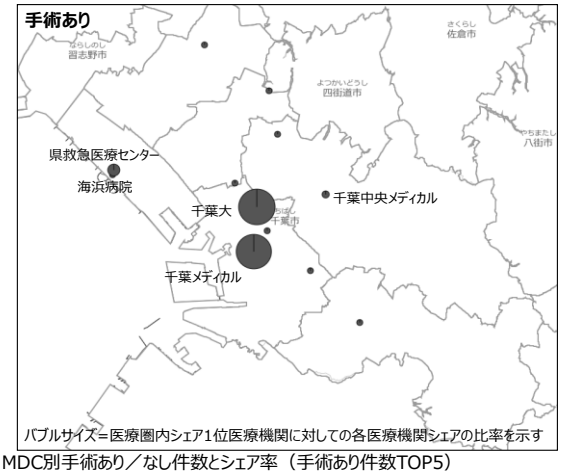


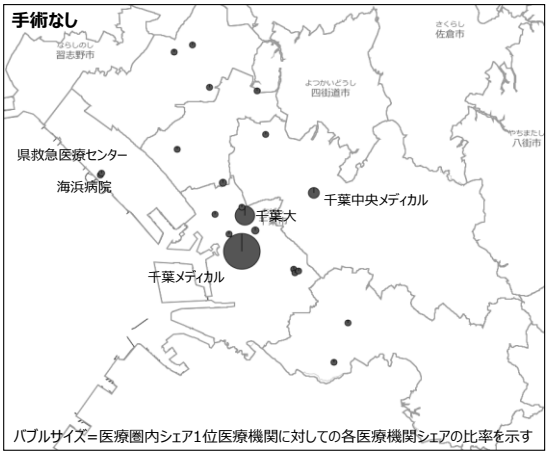
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC04　呼吸器系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	389	1,292	1,681	43.7%	17.4%	20.2%	肺の悪性腫瘍、縦隔悪性腫瘍、気管支狭窄等のシェアが高い。
2	千葉県がんセンター	215	410	625	24.2%	5.5%	7.5%	肺の悪性腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍のシェアが高い。
3	千葉医療センター	140	934	1,074	15.7%	12.5%	12.9%	慢性閉塞性肺疾患、気胸のシェアが高い。
4	千葉市立青葉病院	19	665	684	2.1%	8.9%	8.2%	肺炎等、慢性閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎のシェアが高い。
5	山王病院	19	493	512	2.1%	6.6%	6.1%	誤嚥性肺炎のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	890	7,443	8,333	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	19	665	684	2.1%	8.9%	8.2%	肺炎等、慢性閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	14	766	780	1.6%	10.3%	9.4%	（肺炎等、呼吸不全を主に受入。）

(6) MDC05　循環器系疾患



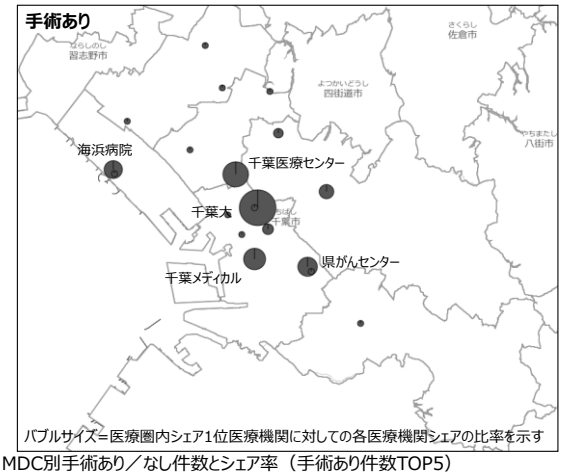


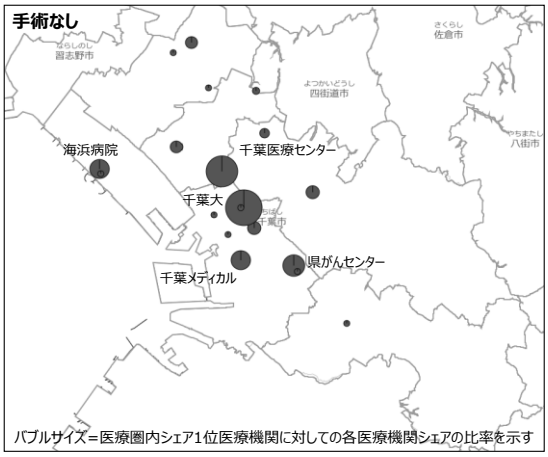
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC05　循環器系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	1,103	795	1,898	30.8%	16.3%	22.4%	頻脈性不整脈等、心不全、弁膜症等のシェアが高い。
2	千葉メディカルセンター	1,091	1,471	2,562	30.4%	30.1%	30.2%	狭心症、慢性虚血性疾患、急性心筋梗塞等のシェアが高い。
3	千葉県救急医療センター	398	245	643	11.1%	5.0%	7.6%	高血圧性疾患、急性心筋梗塞、頻脈性不整脈等のシェアが高い。
4	千葉中央メディカルセンター	242	457	699	6.7%	9.4%	8.3%	（狭心症、心不全を主に受入。）
5	千葉市立海浜病院	154	267	421	4.3%	5.5%	5.0%	（狭心症、慢性虚血性疾患を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	3,586	4,884	8,470	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	141	337	478	3.9%	6.9%	5.6%	（狭心症、心不全、急性心筋梗塞を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	154	267	421	4.3%	5.5%	5.0%	（狭心症、慢性虚血性疾患を主に受入。）

(7) MDC06　消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患



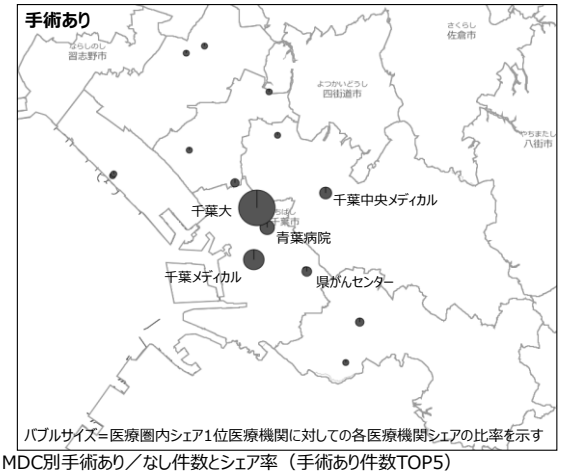


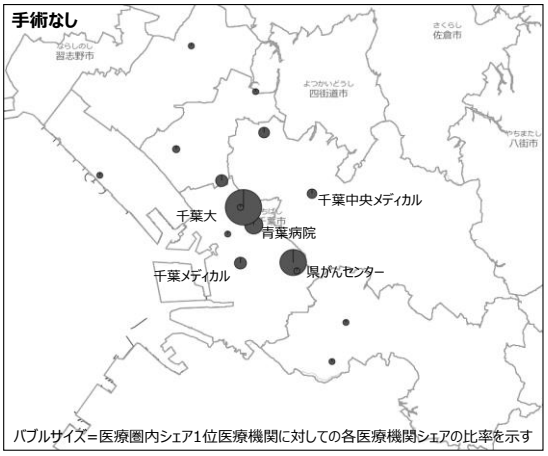
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC06　消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	2,561	1,209	3,770	19.2%	16.2%	18.1%	悪性腫瘍、胆管結石、肝硬変等のシェアが高い。
2	千葉医療センター	1,793	1,055	2,848	13.4%	14.1%	13.7%	悪性腫瘍、小腸大腸の良性疾患、鼠経ヘルニア等のシェアが高い。
3	千葉メディカルセンター	1,565	674	2,239	11.7%	9.0%	10.8%	虫垂炎、ヘルニアの記載のない腸閉塞、憩室性疾患等のシェアが高い。
4	千葉県がんセンター	1,425	728	2,153	10.7%	9.7%	10.3%	胃、食道、膵臓の悪性腫瘍等のシェアが高い。
5	千葉市立海浜病院	1,293	673	1,966	9.7%	9.0%	9.4%	鼠径ヘルニア、虫垂炎、胆嚢疾患等のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	13,339	7,483	20,822	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	815	470	1,285	6.1%	6.3%	6.2%	（小腸大腸の良性疾患、鼠径ヘルニア、結腸の悪性腫瘍を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	1,293	673	1,966	9.7%	9.0%	9.4%	鼠径ヘルニア、虫垂炎、胆嚢疾患等のシェアが高い。

(8) MDC07　筋骨格系疾患



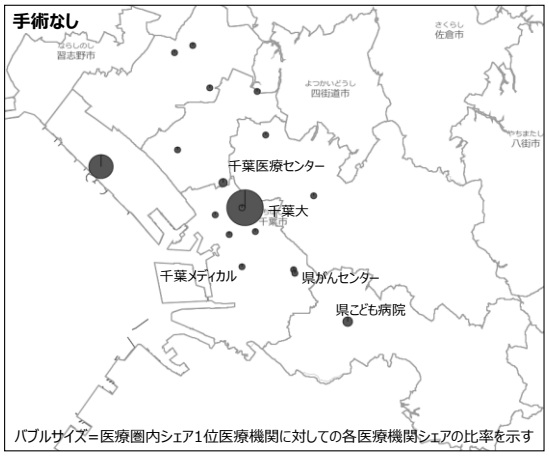


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC07　筋骨格系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	629	300	929	27.0%	20.6%	24.5%	自己免疫性疾患、脊椎・脊髄腫瘍、滑膜炎等のシェアが高い。
2	千葉メディカルセンター	365	108	473	15.6%	7.4%	12.5%	関節内障、椎間板変性、ヘルニア等のシェアが高い。
3	千葉市立青葉病院	262	158	420	11.2%	10.9%	11.1%	脊柱管狭窄、膝関節症、自己免疫性疾患等のシェアが高い。
4	千葉中央メディカルセンター	222	84	306	9.5%	5.8%	8.1%	上肢末梢神経麻痺、椎間板変性、ヘルニア等のシェアが高い。
5	千葉県がんセンター	172	222	394	7.4%	15.3%	10.4%	軟部、骨の悪性腫瘍のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	2,333	1,455	3,788	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	262	158	420	11.2%	10.9%	11.1%	脊柱管狭窄、膝関節症、自己免疫性疾患等のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	15	32	47	0.6%	2.2%	1.2%	（リンパ節・リンパ管の疾患を主に受入。）

(9) MDC08　皮膚・皮下組織の疾患

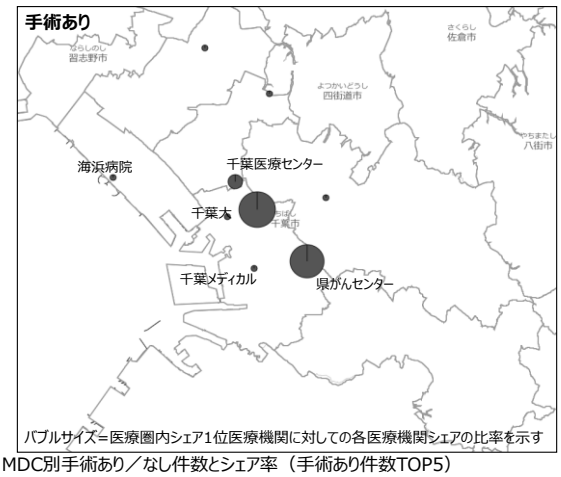


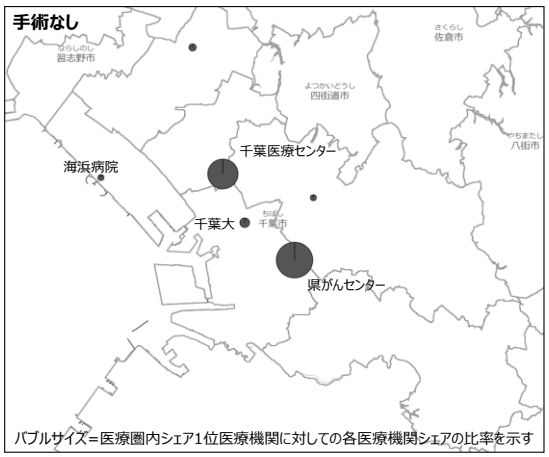
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC08 皮膚･皮下組織の疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	339	426	765	54.6%	33.5%	40.4%	皮膚の悪性腫瘍、黒色腫、母斑等のシェアが高い。
2	千葉県こども病院	70	114	184	11.3%	9.0%	9.7%	皮膚の良性新生物、母斑等のシェアが高い。
3	千葉県がんセンター	54	14	68	8.7%	1.1%	3.6%	（皮膚の良性新生物を主に受入。）
4	千葉医療センター	46	103	149	7.4%	8.1%	7.9%	皮膚の悪性腫瘍、良性新生物のシェアが高い。
5	千葉メディカルセンター	41	36	77	6.6%	2.8%	4.1%	（急性膿皮症、皮膚の良性新生物、皮膚の悪性腫瘍を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	621	1,271	1,892	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	17	72	89	2.7%	5.7%	4.7%	（主に手術無しで急性膿皮症を受入。）
-	千葉市立海浜病院	18	285	303	2.9%	22.4%	16.0%	（主に手術無しで急性膿皮症を受入。）

(10) MDC09　乳房の疾患



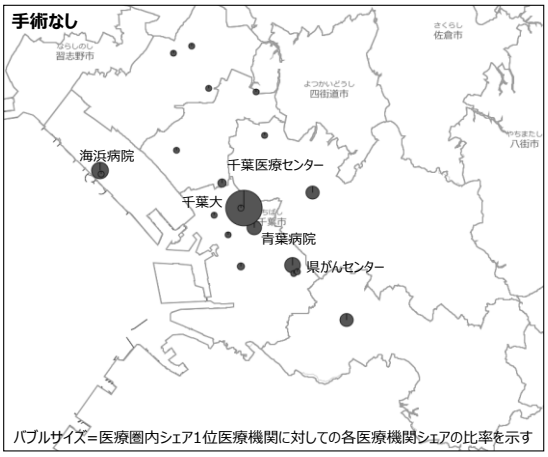


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC09 乳房の疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	273	20	293	30.7%	10.8%	27.3%	乳房の悪性腫瘍のシェアが高い。
2	千葉県がんセンター	262	70	332	29.5%	37.6%	30.9%	乳房の悪性腫瘍のシェアが高い。
3	千葉医療センター	110	59	169	12.4%	31.7%	15.7%	乳房の悪性腫瘍のシェアが高い。
4	千葉市立海浜病院	54	10	64	6.1%	5.4%	6.0%	（乳房の悪性腫瘍を主に受入。）
5	千葉メディカルセンター	52	0	52	5.8%	0.0%	4.8%	（乳房の悪性腫瘍を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	889	186	1,075	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
-	千葉市立海浜病院	54	10	64	6.1%	5.4%	6.0%	（乳房の悪性腫瘍を主に受入。）

(11) MDC10　内分泌・栄養・代謝に関する疾患

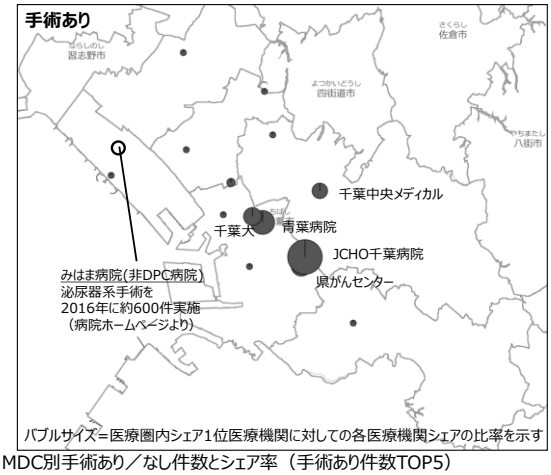


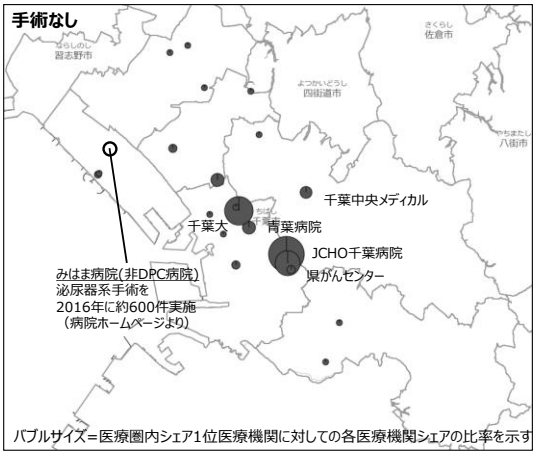
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	218	514	732	49.9%	21.9%	26.3%	副腎皮質機能亢進症、甲状腺の悪性腫瘍等のシェアが高い。
2	千葉市立青葉病院	52	213	265	11.9%	9.1%	9.5%	糖尿病足変等のシェアが高い。（２型糖尿病を主に受入。）
3	千葉県がんセンター	46	47	93	10.5%	2.0%	3.3%	甲状腺の悪性腫瘍のシェアが高い。
4	千葉医療センター	39	137	176	8.9%	5.8%	6.3%	（２型糖尿病を主に受入。）
5	千葉市立海浜病院	17	241	258	3.9%	10.3%	9.3%	（２型糖尿病を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	437	2,349	2,786	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	52	213	265	11.9%	9.1%	9.5%	糖尿病足変等のシェアが高い。（２型糖尿病を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	17	241	258	3.9%	10.3%	9.3%	（２型糖尿病を主に受入。）

(12) MDC11　腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患



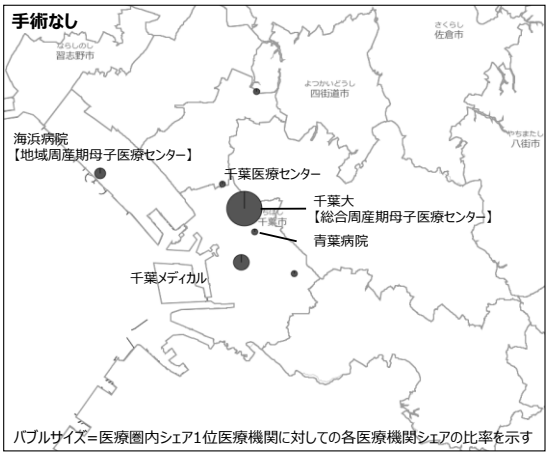


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	JCHO千葉病院	773	177	950	22.6%	4.2%	12.4%	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全のシェアが高い。
2	千葉市立青葉病院	519	287	806	15.2%	6.8%	10.6%	上部尿路疾患、前立腺肥大症、腎臓・尿路の感染症等のシェアが高い。
3	千葉県がんセンター	454	540	994	13.3%	12.8%	13.0%	膀胱腫瘍、前立腺の悪性腫瘍等のシェアが高い。
4	千葉大学医学部附属病院	392	611	1,003	11.5%	14.5%	13.1%	腎盂・尿管の悪性腫瘍、後腹膜疾患、腎腫瘍等のシェアが高い。
5	千葉中央メディカルセンター	354	270	624	10.4%	6.4%	8.2%	上部尿路疾患等のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	3,418	4,218	7,636	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	519	287	806	15.2%	6.8%	10.6%	上部尿路疾患、前立腺肥大症、腎臓・尿路の感染症等のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	52	160	212	1.5%	3.8%	2.8%	（腎臓または尿路の感染症、前立腺の悪性腫瘍を主に受入。）

(13) MDC12　女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

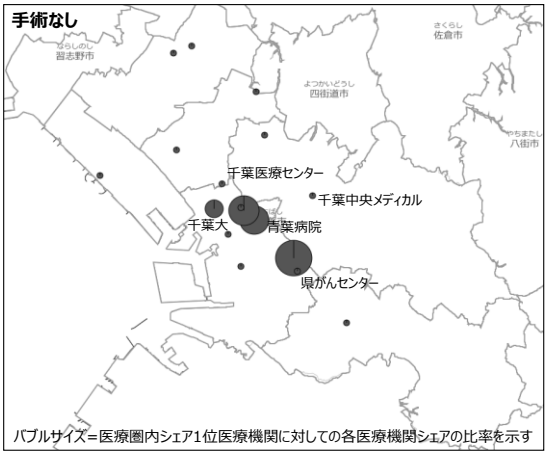


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC12　女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	762	352	1,114	35.9%	42.1%	37.6%	子宮の悪性腫瘍、卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍等のシェアが高い。
2	千葉メディカルセンター	378	161	539	17.8%	19.2%	18.2%	卵巣の良性腫瘍、子宮の良性腫瘍、異所性妊娠等のシェアが高い。
3	千葉医療センター	288	66	354	13.6%	7.9%	12.0%	生殖器脱出症等のシェアが高い。
4	千葉市立海浜病院	285	108	393	13.4%	12.9%	13.3%	胎児および胎児付属物の異常、早産、切迫早産等のシェアが高い。
5	千葉市立青葉病院	205	65	270	9.6%	7.8%	9.1%	（子宮の良性腫瘍、子宮頚・体部の悪性腫瘍を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	2,125	837	2,962	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	205	65	270	9.6%	7.8%	9.1%	（子宮の良性腫瘍、子宮頚・体部の悪性腫瘍を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	285	108	393	13.4%	12.9%	13.3%	胎児および胎児付属物の異常、早産、切迫早産等のシェアが高い。

(14) MDC13　血液・造血器・免疫臓器の疾患

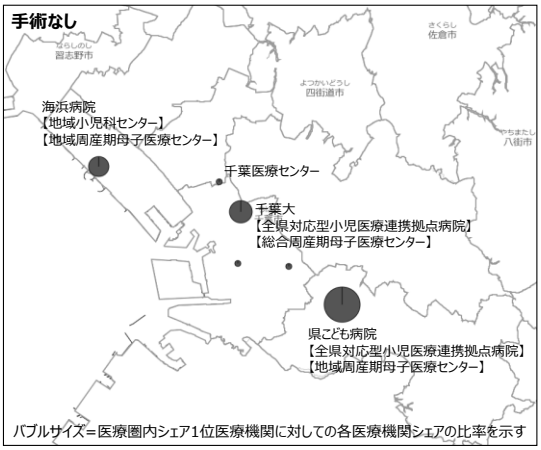


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC13　血液・造血器・免疫臓器の疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	61	354	415	33.5%	19.9%	21.1%	多発性骨髄腫、非ホジキンリンパ腫等のシェアが高い。
2	千葉県がんセンター	41	417	458	22.5%	23.4%	23.3%	非ホジキンリンパ腫のシェアが高い。
3	千葉市立青葉病院	35	345	380	19.2%	19.4%	19.3%	急性白血病、多発性骨髄腫、骨髄医業形成症候群のシェアが高い。
4	千葉医療センター	28	82	110	15.4%	4.6%	5.6%	（非ホジキンリンパ腫、貧血、白血球疾患を主に受入。）
5	千葉中央メディカルセンター	17	36	53	9.3%	2.0%	2.7%	
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	182	1,782	1,964	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	35	345	380	19.2%	19.4%	19.3%	急性白血病、多発性骨髄腫、骨髄医業形成症候群のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	0	45	45	0.0%	2.5%	2.3%	

(15) MDC14　新生児疾患、先天性奇形

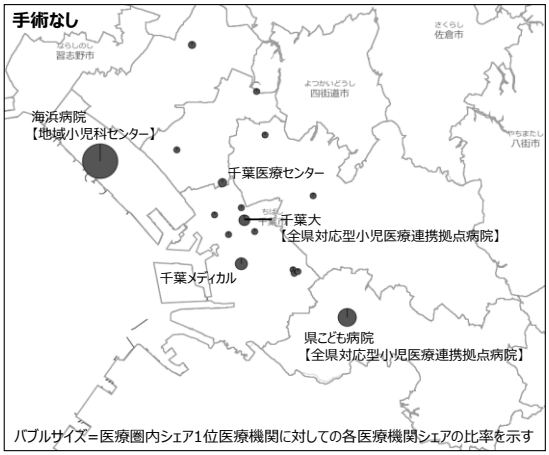


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC14 新生児疾患、先天性奇形

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉県こども病院	716	297	1,013	70.5%	40.2%	57.8%	先天性心疾患、先天性下部尿路疾患等のシェアが高い。
2	千葉大学医学部附属病院	167	191	358	16.5%	25.8%	20.4%	妊娠期間短縮、低出産体重関連障害等のシェアが高い。
3	千葉市立海浜病院	115	172	287	11.3%	23.3%	16.4%	妊娠期間短縮、低出産体重関連障害のシェアが高い。
4	千葉医療センター	17	26	43	1.7%	3.5%	2.5%	（妊娠期間短縮を主に受入。）
5	千葉メディカルセンター	0	42	42	0.0%	5.7%	2.4%	（妊娠期間短縮を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	1,015	739	1,754	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
-	千葉市立海浜病院	115	172	287	11.3%	23.3%	16.4%	妊娠期間短縮、低出産体重関連障害のシェアが高い。

(16) MDC15　小児疾患

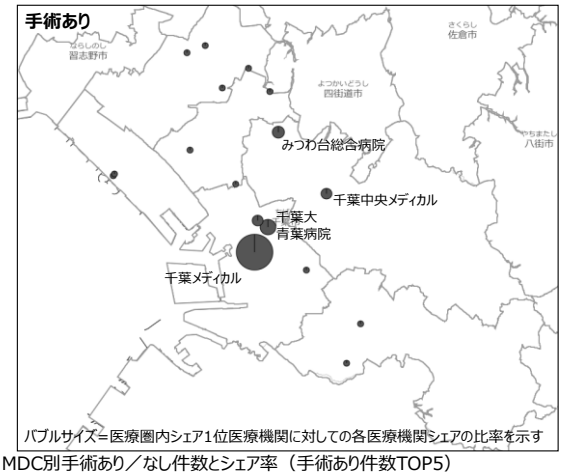


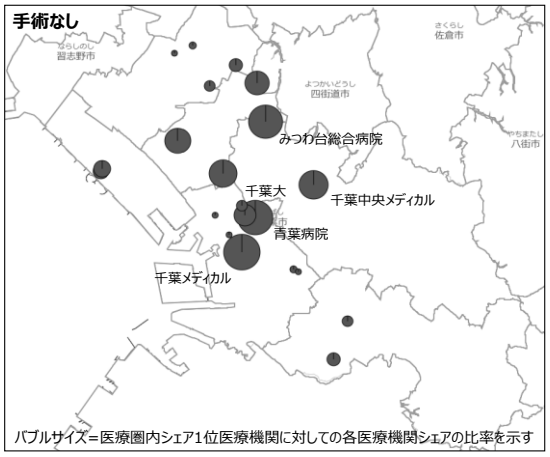
MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC15 小児疾患

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉市立海浜病院	0	298	298	0.0%	26.8%	26.8%	ウイルス性腸炎、川崎病、熱性けいれん等のシェアが高い。
2	千葉県こども病院	0	152	152	0.0%	13.7%	13.7%	熱性けいれん、川崎病のシェアが高い。
3	千葉メディカルセンター	0	107	107	0.0%	9.6%	9.6%	ウイルス性腸炎、細菌性腸炎のシェアが高い。
4	千葉大学医学部附属病院	0	90	90	0.0%	8.1%	8.1%	川崎病のシェアが高い。
5	千葉医療センター	0	79	79	0.0%	7.1%	7.1%	
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	0	1,112	1,112	0.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	0	57	57	0.0%	5.1%	5.1%	
-	千葉市立海浜病院	0	298	298	0.0%	26.8%	26.8%	ウイルス性腸炎、川崎病、熱性けいれん等のシェアが高い。

(17) MDC16　外傷・熱傷・中毒



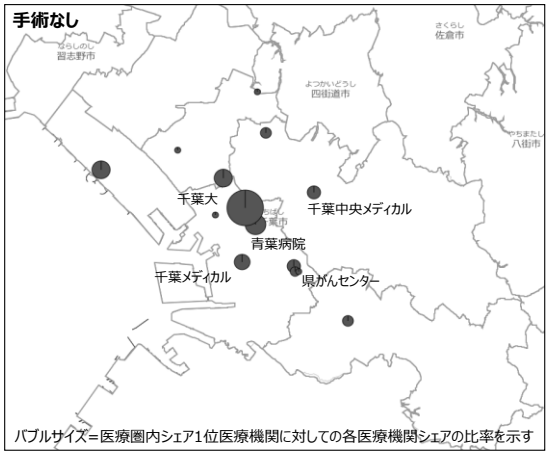


MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

MDC16 外傷・熱傷・中毒

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉メディカルセンター	937	172	1,109	28.1%	9.9%	21.9%	肘・膝の外傷、四肢筋腱損傷、股関節大腿近位骨折等のシェアが高い。
2	千葉市立青葉病院	408	171	579	12.3%	9.9%	11.4%	鎖骨骨折・肩甲骨骨折、股関節大腿近位骨折等のシェアが高い。
3	みつわ台総合病院	319	165	484	9.6%	9.5%	9.6%	前腕の骨折、骨盤損傷、多部位外傷等のシェアが高い。
4	千葉大学医学部附属病院	298	106	404	9.0%	6.1%	8.0%	頸椎頚髄損傷、四肢筋腱損傷、顔面損傷等のシェアが高い。
5	千葉中央メディカルセンター	298	141	439	9.0%	8.1%	8.7%	胸椎・腰椎以下骨折損傷のシェアが高い。
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	3,329	1,735	5,064	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	408	171	579	12.3%	9.9%	11.4%	鎖骨骨折・肩甲骨骨折、股関節大腿近位骨折等のシェアが高い。
-	千葉市立海浜病院	17	75	92	0.5%	4.3%	1.8%	（頭蓋・頭蓋内損傷を主に受入。）

(18) MDC18　その他



MDC別手術あり／なし件数とシェア率（手術あり件数TOP5）

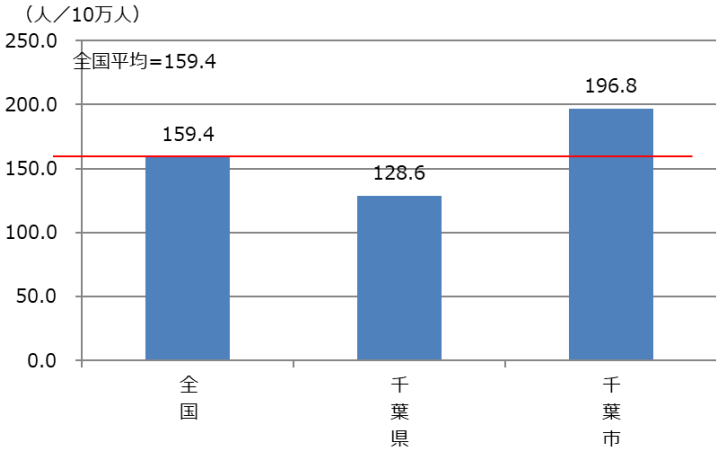
MDC18 その他

順位	医療機関名	件数			シェア率			状況(手術有り無し計の診断群分類別の傾向について記載)
		手術有	手術無	計	手術有	手術無	計	
1	千葉大学医学部附属病院	154	122	276	40.0%	19.5%	27.3%	手術・処置等の合併症、その他の悪性腫瘍、新生物のシェアが高い。
2	千葉市立青葉病院	36	71	107	9.4%	11.4%	10.6%	手術・処置等の合併症のシェアが高い。
3	千葉中央メディカルセンター	32	47	79	8.3%	7.5%	7.8%	（手術・処置等の合併症を主に受入。）
4	千葉県がんセンター	30	33	63	7.8%	5.3%	6.2%	その他の悪性腫瘍のシェアが高い。
5	千葉メディカルセンター	24	53	77	6.2%	8.5%	7.6%	（手術・処置等の合併症を主に受入。）
:	:	:	:	:	:	:	:	
-	総数	385	625	1,010	100.0%	100.0%	100.0%	
-	千葉市立青葉病院	36	71	107	9.4%	11.4%	10.6%	（手術・処置等の合併症を主に受入。）
-	千葉市立海浜病院	16	62	78	4.2%	9.9%	7.7%	

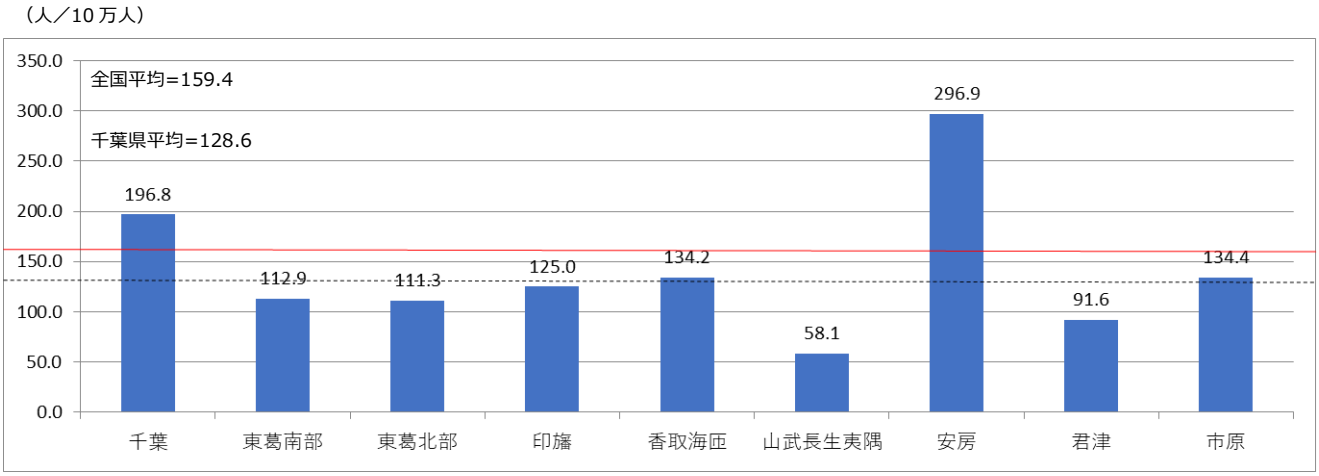
出典：2017 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」、「国土地理院地図」より作成

【図表 3】　病院従事医師数

人口 10 万人対病院従事医師数（全国・千葉県・千葉市）



人口 10 万人対病院従事医師数（千葉県二次保健医療圏）



出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査（2016 年）」、
総務省統計局「人口推計（2016 年 10 月 1 日現在）」、
千葉県「毎月常住人口調査（2016 年 10 月 1 日現在）」より作成

【図表 4】各区の入院患者の受療動向

→入院先 ↓患者住所地		中央区	うち青葉	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	うち海浜	市外	合計
中央区	人数	61,806	6,624	1,267	1,018	8,272	5,367	1,171	756	12,789	91,690
	割合	67.4%	7.2%	1.4%	1.1%	9.0%	5.9%	1.3%	0.8%	13.9%	100.0%
花見川区	人数	19,112	1,343	12,907	5,759	3,129	1,772	5,586	3,199	29,440	77,705
	割合	24.6%	1.7%	16.6%	7.4%	4.0%	2.3%	7.2%	4.1%	37.9%	100.0%
稲毛区	人数	28,751	2,751	2,827	10,493	8,109	1,664	2,300	1,228	15,366	69,510
	割合	41.4%	4.0%	4.1%	15.1%	11.7%	2.4%	3.3%	1.8%	22.1%	100.0%
若葉区	人数	31,574	4,172	1,255	5,420	26,011	2,186	1,995	336	15,706	84,147
	割合	37.5%	5.0%	1.5%	6.4%	30.9%	2.6%	2.4%	0.4%	18.7%	100.0%
緑区	人数	22,501	3,151	721	1,156	4,833	8,567	826	370	10,132	48,736
	割合	46.2%	6.5%	1.5%	2.4%	9.9%	17.6%	1.7%	0.8%	20.8%	100.0%
美浜区	人数	24,389	2,158	2,959	3,609	2,057	2,187	7,886	5,074	15,452	58,539
	割合	41.7%	3.7%	5.1%	6.2%	3.5%	3.7%	13.5%	8.7%	26.4%	100.0%
総計	人数	188,133	20,294	21,936	27,455	52,411	21,743	19,764	11,054	98,885	430,327
	割合	43.7%	4.7%	5.1%	6.4%	12.2%	5.1%	4.6%	2.6%	23.0%	100.0%

注 1）KDB（国保データベース）医療レセプト管理データの都合上、上記分析は 75 歳以下の患者に対しての動向となっており、後期高齢者の動向は含まれない。

注 2）2017 年度では国保全被保険者数は 214，301 名となっている。(2017 年 10 月時点の千葉市の人口に対して約 22%)

注 3）国保被保険者以外も含めたレセプト情報等から算出した千葉保健医療圏の圏域内完結率（※）（2013 年度）は下記のとおりである。

全体	病床機能別			
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
76.8%	81.8%	81.7%	79.4%	73.4%

※圏域内完結率：入院を必要とする患者のうち患者が住む医療圏域内の医療機関で入院治療を受けている患者の割合

出典：国民健康保険(国保）データベース（KDB）(2017 年度)、千葉県保健医療計画(2018 年 4 月）より作成

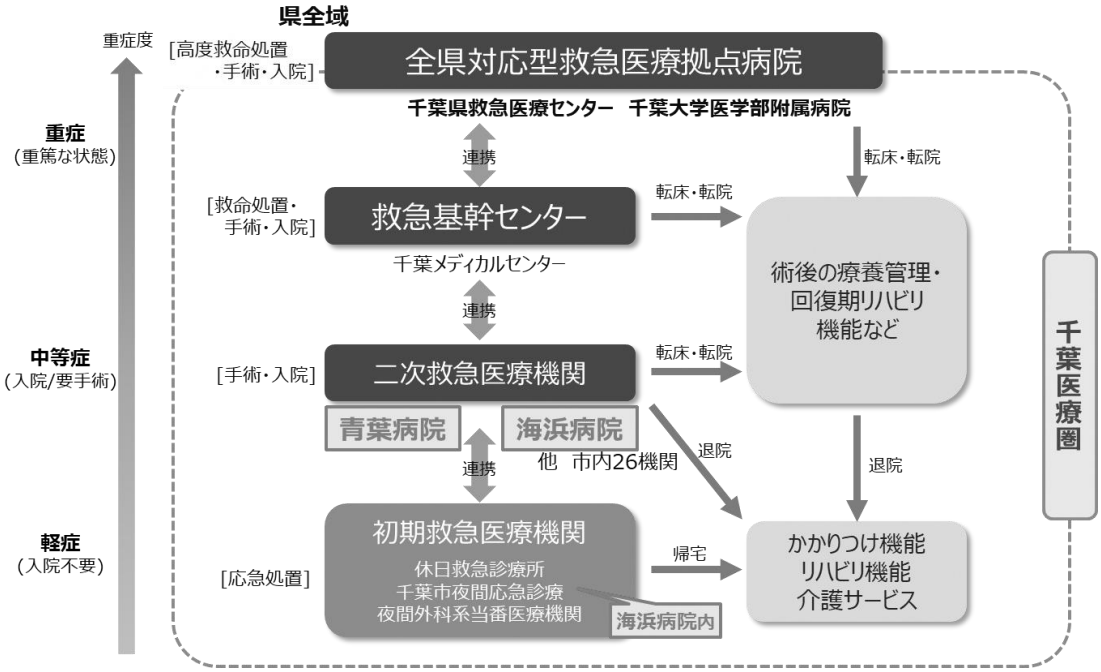
【図表 5】DPC 患者数ベースの MDC 領域別患者流出入状況（MDC17 精神疾患以外）

施設名	1 神経系 DPC 患者数	2 眼科系 DPC 患者数	3 耳鼻咽喉科系 DPC 患者数	4 呼吸器系 DPC 患者数	5 循環器系 DPC 患者数	6 消化器系 DPC 患者数	7 筋骨格系 DPC 患者数	8 皮膚・皮下組織 DPC 患者数	9 乳房 DPC 患者数
千葉市立青葉病院	121	0	130	759	482	1,336	446	106	0
千葉市立海浜病院	161	390	536	750	480	1,829	26	654	78
千葉大学医学部附属病院	919	1,529	525	1,543	1,905	3,663	971	699	265
国立病院機構千葉医療センター	488	996	326	1,079	447	2,855	315	119	187
国立病院機構千葉東病院	0	98	10	58	14	109	61	17	0
千葉県がんセンター	177	0	240	667	14	2,063	390	30	351
山王病院	86	247	381	551	318	725	132	38	24
千葉メディカルセンター	563	493	79	485	2,565	2,057	436	66	50
千葉中央メディカルセンター	432	477	56	356	530	1,246	280	39	27
みつわ台総合病院	115	186	102	361	204	987	189	27	0
千葉県こども病院	191	114	259	436	27	291	222	102	0
最成病院	14	0	49	206	68	884	66	13	43
地域医療機能推進機構　千葉病院	17	0	21	100	383	710	12	0	0
稲毛病院	0	0	0	47	18	144	17	0	0
おゆみの中央病院	16	0	97	104	45	19	70	0	0
柏戸病院	97	0	25	208	98	88	21	0	0
井上記念病院	17	294	131	154	40	360	0	19	23
千葉県救急医療センター	276	0	12	50	660	176	0	0	0
千葉脳神経外科病院	1,166	0	11	0	0	0	0	0	0
千葉健生病院	0	0	0	0	0	34	0	0	0
斎藤労災病院	21	0	15	105	34	241	18	13	0
平山病院	27	0	0	100	31	69	20	0	0
上記医療機関入院患者数合計①(供給)	4,904	4,824	3,005	8,119	8,363	19,886	3,692	1,942	1,048
医療圏内住所地入院患者数②(需要)	4,539	4,618	2,742	7,649	8,322	17,324	3,479	1,680	964
患者数差　①-②(需給差(見かけ上流出入差))	365	206	263	470	41	2,562	213	262	84

施設名	10 内分泌・栄養・代謝 DPC 患者数	11 腎・尿路系 DPC 患者数	12 女性生器系及産褥期 DPC 患者数	13 血液・造血器・免疫臓 DPC 患者数	14 新生児、先天性奇形 DPC 患者数	15 小児 DPC 患者数	16 外傷・熱傷・中毒 DPC 患者数	18 その他 DPC 患者数	合計 DPC 患者数
千葉市立青葉病院	214	830	257	359	0	37	634	113	5,824
千葉市立海浜病院	275	127	427	44	289	240	99	67	6,472
千葉大学医学部附属病院	670	903	1,173	421	379	101	382	318	16,366
国立病院機構千葉医療センター	182	547	331	119	31	36	302	75	8,435
国立病院機構千葉東病院	128	478	0	11	0	25	26	31	1,066
千葉県がんセンター	82	1,016	298	445	0	0	12	54	5,839
山王病院	113	297	87	65	0	33	253	34	3,384
千葉メディカルセンター	88	199	520	41	31	120	1,054	89	8,936
千葉中央メディカルセンター	178	493	0	46	0	50	462	65	4,737
みつわ台総合病院	82	204	14	35	0	93	539	54	3,192
千葉県こども病院	164	186	0	75	1,073	160	84	41	3,425
最成病院	30	73	0	11	0	60	169	0	1,686
地域医療機能推進機構　千葉病院	18	637	0	13	0	21	18	15	1,965
稲毛病院	0	47	0	0	0	0	45	0	318
おゆみの中央病院	0	17	0	0	0	0	139	0	507
柏戸病院	57	38	0	0	0	25	20	0	677
井上記念病院	69	259	0	225	0	20	32	12	1,655
千葉県救急医療センター	15	15	0	0	0	0	284	10	1,498
千葉脳神経外科病院	0	0	0	0	0	0	181	0	1,358
千葉健生病院	0	0	0	0	0	0	0	0	34
斎藤労災病院	18	20	0	14	0	21	54	0	574
平山病院	22	109	0	0	0	0	74	0	452
上記医療機関入院患者数合計①(供給)	2,405	6,495	3,107	1,924	1,803	1,042	4,863	978	78,400
医療圏内住所地入院患者数②(需要)	2,224	5,017	3,561	1,598	1,177	1,048	4,888	861	71,691
患者数差　①-②(需給差(見かけ上流出入差))	181	1,478	▲454	326	626	▲6	▲25	117	6,709

出典：2016 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より作成

【図表 6】救急医療の循環型地域医療連携システム



出典：千葉県「保健医療計画(平成 30 年度～平成 35 年度)」より作成

【図表 7】主要な救急搬送先

・高度急性期+急性期の病床数が100床以上の医療機関のみ記載
・表中の網掛けは主要な救急搬送先（地図上では濃い●で表示）
・バブルサイズ
高度急性期+急性期の病床数

No	施設名称	病床数	所在区
1	千葉大学医学部附属病院	800床	中央区
2	独立行政法人国立病院機構　千葉医療センター	410床	中央区
3	千葉県がんセンター	341床	中央区
4	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター	315床	中央区
5	千葉市立青葉病院	314床	中央区
6	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	160床	中央区
7	医療法人社団普照会 井上記念病院	125床	中央区
8	医療法人社団有相会 最成病院	180床	花見川区
9	医療法人社団翠明会 山王病院	308床	稲毛区
10	稲毛病院	180床	稲毛区
11	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院	100床	稲毛区
12	医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター	212床	若葉区
13	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院	205床	若葉区
14	千葉県こども病院	224床	緑区
15	千葉市立海浜病院	287床	美浜区
16	千葉県救急医療センター	100床	美浜区

出典：2016 年「病床機能報告」より作成、地図データ©2018google, ZENRIN

【図表 8】区別搬送状況（発生地区別搬送先患者数）

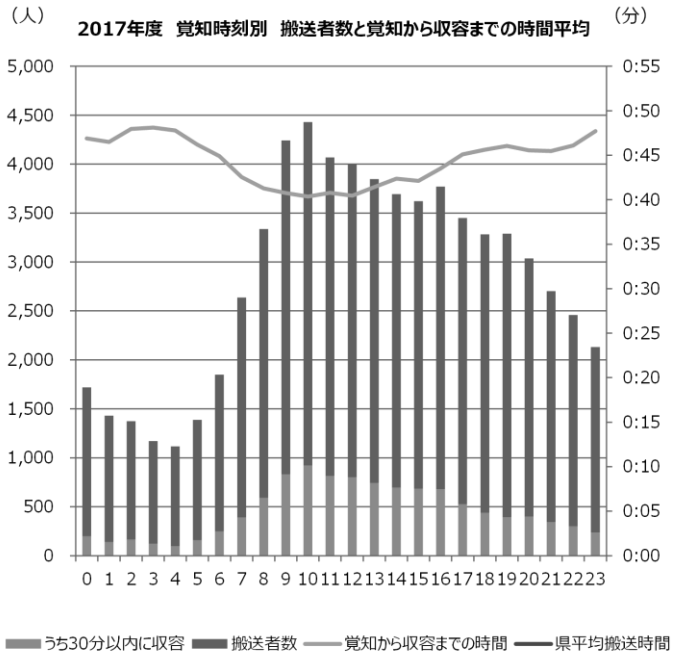
→　搬送先

発生地区↓	中央区	うち青葉	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	うち海浜	うち夜急診	市外	計
中央区	7,699	1,590	125	255	1,968	246	1,705	395	674	691	12,689
	60.7%	12.5%	1.0%	2.0%	15.5%	1.9%	13.4%	3.1%	5.3%	5.4%	100.0%
花見川区	1,423	471	1,638	831	964	17	1,764	694	448	1,870	8,507
	16.7%	5.5%	19.3%	9.8%	11.3%	0.2%	20.7%	8.2%	5.3%	22.0%	100.0%
稲毛区	2,175	480	305	1,389	1,524	35	1,326	440	422	514	7,268
	29.9%	6.6%	4.2%	19.1%	21.0%	0.5%	18.2%	6.1%	5.8%	7.1%	100.0%
若葉区	1,858	435	32	183	3,751	107	660	199	241	1,303	7,894
	23.5%	5.5%	0.4%	2.3%	47.5%	1.4%	8.4%	2.5%	3.1%	16.5%	100.0%
緑区	2,183	537	30	57	824	815	576	116	277	745	5,230
	41.7%	10.3%	0.6%	1.1%	15.8%	15.6%	11.0%	2.2%	5.3%	14.2%	100.0%
美浜区	2,358	605	439	518	807	70	2,579	1,004	520	1,008	7,779
	30.3%	7.8%	5.6%	6.7%	10.4%	0.9%	33.2%	12.9%	6.7%	13.0%	100.0%
市外	19	—	—	—	15	—	—	—	0	55	104
	18.3%	—	—	—	14.4%	—	—	—	0.0%	52.9%	100.0%
計	17,715	4,122	2,572	3,238	9,853	1,291	8,616	2,849	2,582	6,186	49,471
	35.8%	8.3%	5.2%	6.5%	19.9%	2.6%	17.4%	5.8%	5.2%	12.5%	100.0%

※総計 57,137 件から搬送先不明 7,666 件を除く

出典：2017 年度千葉市救急搬送データより作成

【図表 9】時間帯別搬送時間の状況



出典：2017 年度千葉市救急搬送データ、2017 年度千葉県救急搬送実態調査データより作成

【図表 10】重症度別・時間帯別搬送時間の状況(2017 年度)

重症度	時間帯	市全体			青葉病院			海浜病院		
		搬送時間		件数	搬送時間		件数	搬送時間		件数
		平均値	中央値		平均値	中央値		平均値	中央値	
軽症	日中	0:42:17	0:39:00	17,170	0:51:22	0:48:00	872	0:37:09	0:35:00	1,255
	夜間	0:46:40	0:43:00	10,390	0:55:47	0:53:00	985	0:42:42	0:40:00	526
中等症	日中	0:41:54	0:37:00	14,342	0:46:54	0:42:00	1,164	0:34:11	0:32:00	761
	夜間	0:47:00	0:42:00	5,698	0:52:31	0:48:00	893	0:43:27	0:40:00	289
重症	日中	0:40:35	0:36:00	1,232	0:38:46	0:36:00	129	0:33:27	0:32:00	11
	夜間	0:39:33	0:35:00	629	0:39:24	0:37:00	79	0:33:40	0:31:30	6

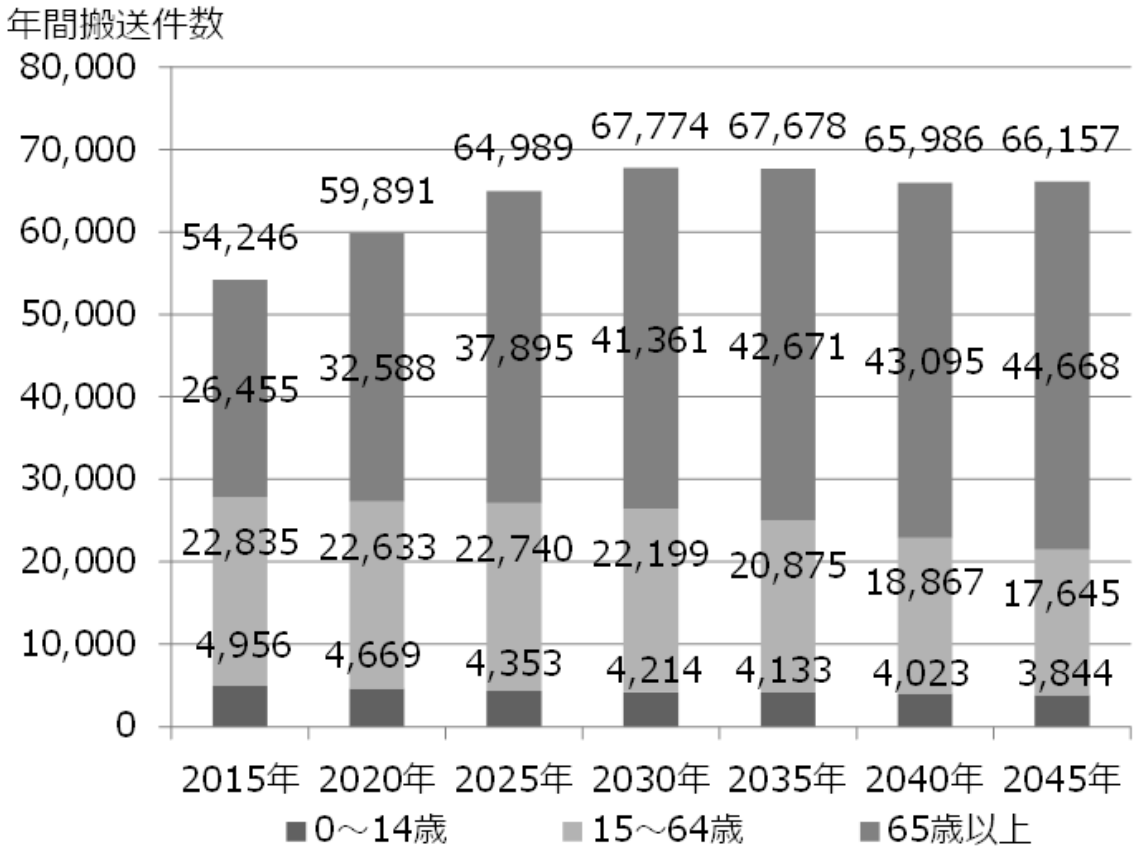
出典：2017 年度千葉市救急搬送データより作成

【図表 11】千葉県の搬送状況

二次保健医療圏	搬送時間						医療機関交渉回数			
	全体		昼間（6～18 時）		夜間（18～翌 6 時）		全体	重症	中等症	軽症
	平均値（分）	中央値（分）	平均値（分）	中央値（分）	平均値（分）	中央値（分）	平均値（回）	平均値（回）	平均値（回）	平均値（回）
千葉県全体	43.40	40	42.82	39	44.40	41	1.33	1.26	1.31	1.36
千葉	44.08	40	42.57	39	46.67	43	1.60	1.58	1.54	1.65
東葛南部	40.61	38	40.23	38	41.22	38	1.26	1.28	1.25	1.26
東葛北部	38.57	36	38.14	36	39.29	37	1.11	1.13	1.11	1.12
印旛	46.60	43	45.39	42	48.67	45	1.33	1.28	1.30	1.36
香取海匝	44.85	42	44.63	41	45.24	43	1.37	1.28	1.38	1.36
山武長生夷隅	53.32	49	52.70	48	54.45	50	1.44	1.30	1.49	1.43
安房	52.24	48	52.08	48	52.50	50	1.21	1.05	1.21	1.25
君津	48.42	44	48.62	44	48.06	44	1.54	1.26	1.46	1.62
市原	45.73	42	45.01	42	46.92	42	1.35	1.25	1.36	1.36

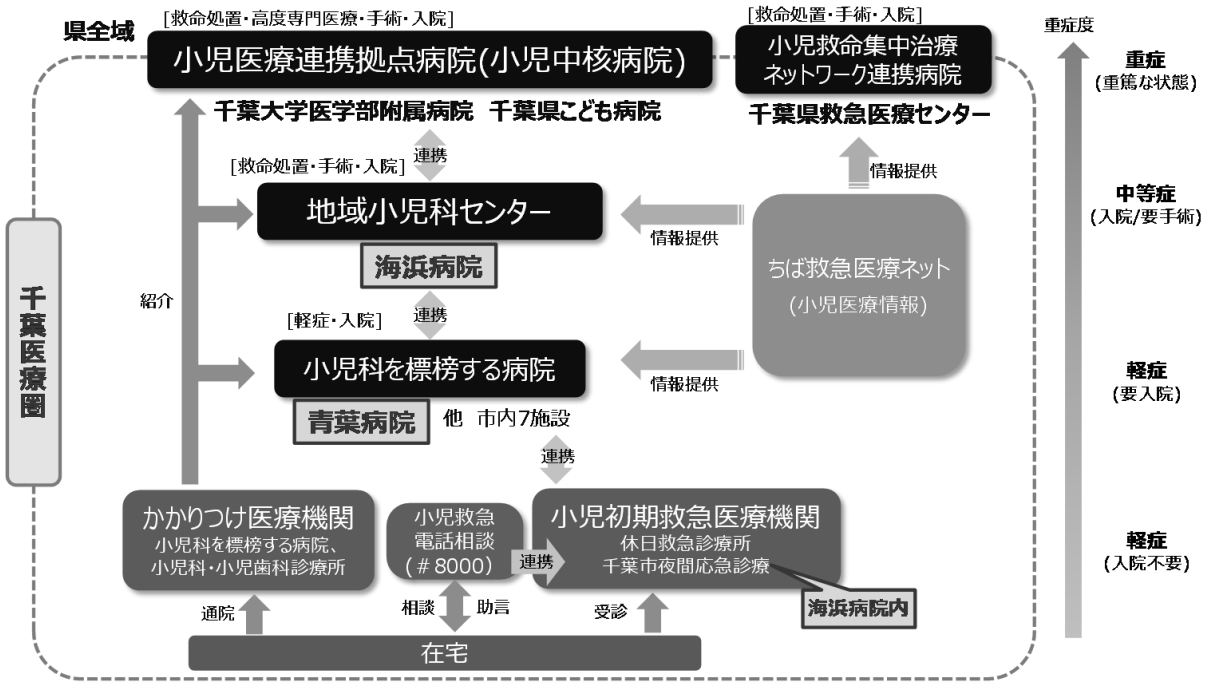
出典：2017 年度千葉県救急搬送実態調査データより作成

【図表 12】救急搬送件数の将来推計



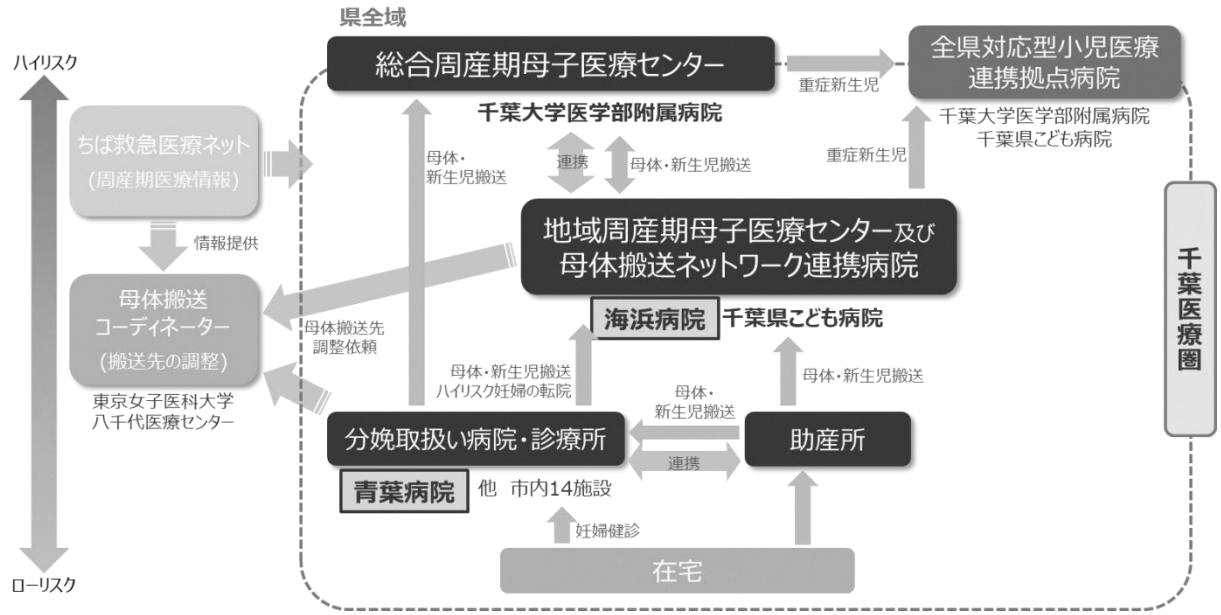
出典：千葉市「千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（2018 年）」、
千葉市救急搬送データより作成

【図表 13】小児医療の循環型地域医療連携システム



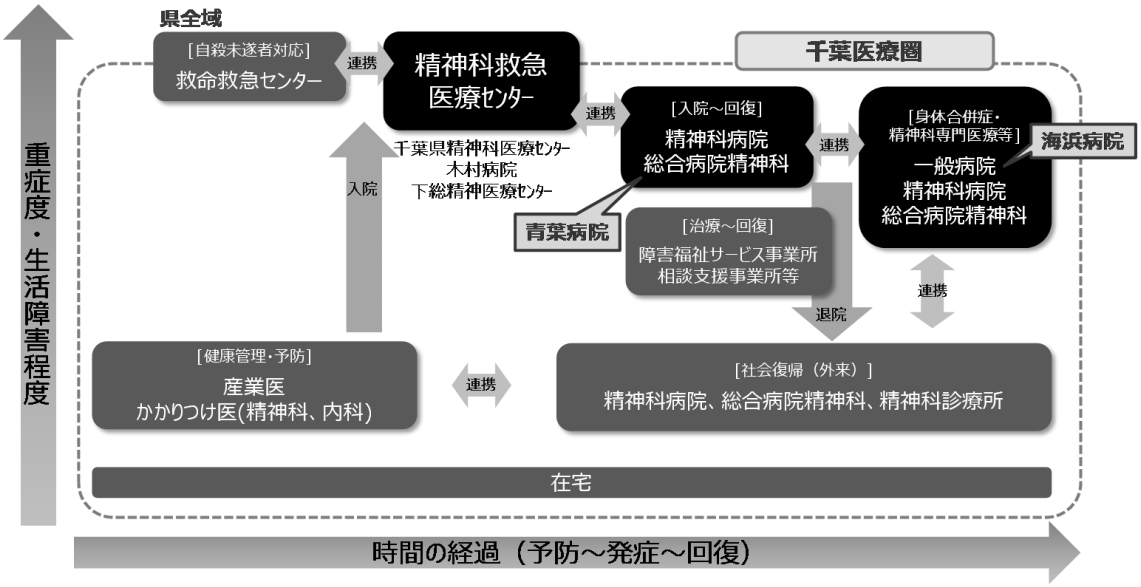
出典：千葉県「保健医療計画(平成 30 年度～平成 35 年度)」より作成

【図表 14】周産期医療の循環型地域医療連携システム



出典：千葉県「保健医療計画(平成 30 年度～平成 35 年度)」より作成

【図表 15】精神医療の循環型地域医療連携システム



出典：千葉県「保健医療計画(平成 30 年度～平成 35 年度)」より作成

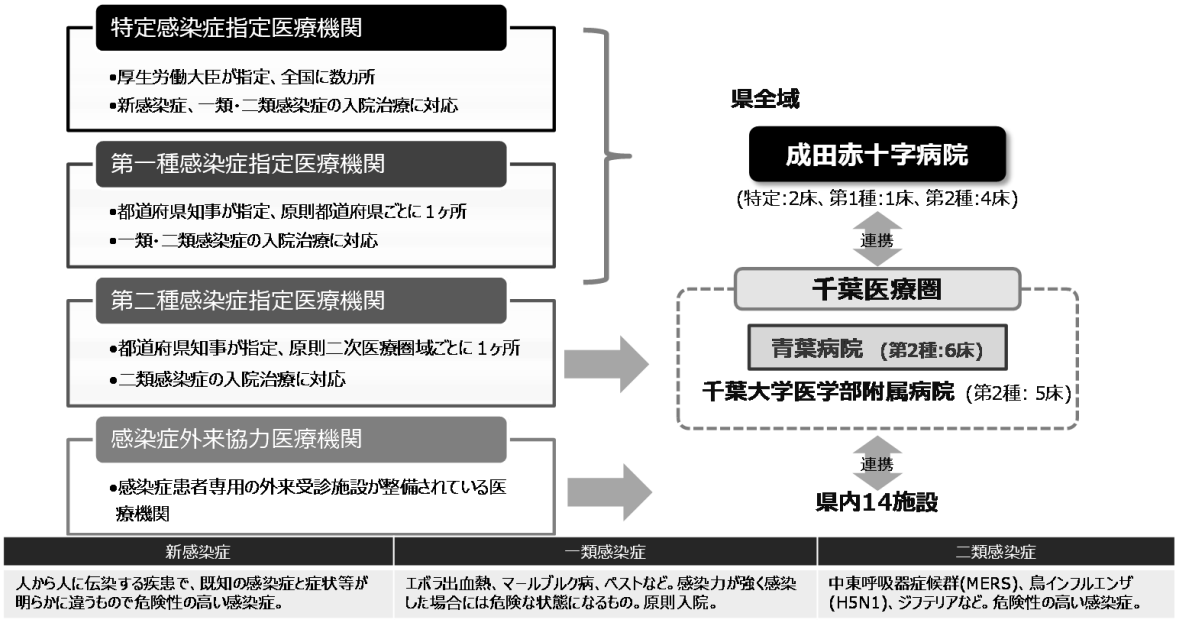
【図表 16】青葉病院　精神病床(成人)の稼働状況

2017 年度　1 日平均入院患者数

（人・床）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計
市内	12.0	9.5	13.6	10.5	12.8	10.5	12.3	14.9	13.0	13.1	13.0	8.3	11.9
市外	4.2	3.5	3.5	6.5	6.8	5.7	4.9	4.8	5.3	5.4	6.3	2.5	4.9
総計(A)	16.1	13.0	17.1	17.0	19.5	16.3	17.2	19.7	18.3	18.5	19.3	10.7	16.9
許可病床数(B)	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
稼働率(A/B)	57.6 %	46.4 %	61.2 %	60.8 %	69.8 %	58.1 %	61.4 %	70.5 %	65.3 %	66.0 %	68.8 %	38.2 %	60.3 %

【図表 17】感染症医療体制



出典：千葉県「保健医療計画(平成 30 年度～平成 35 年度)」より作成

【図表 18】千葉保健医療圏の地域医療構想の概要

機能別病床数
(地域医療構想)

2025 年にかけて、

● **高度急性期・回復期・慢性期：不足**　● **急性期：過剰**

（床）	2017 年度報告	2025 年必要数	差引	
高度急性期	937	1,077	▲140	不足
急性期	4,451	3,028	1,423	過剰
回復期	994	2,520	▲1,526	不足
慢性期	1, 662	1,859	▲197	不足
総計	8,044	8,484	▲440	不足

施策の方向性

- **役割分担・連携の推進**
  …地域医療支援病院（※）による地域医療支援活動、
  医療・福祉機関の連携システム構築
- **地域医療体制の整備**
  …地域包括ｹｱｼｽﾃﾑの実現、地域のﾆｰｽﾞに即した診療機能、在宅医療の充実
- **救急医療等の確保**
- **医療従事者の確保・定着**

※　かかりつけ医を支援し地域医療確保を図る役割を担う病院。かかりつけ医からの紹介受入れ、医療機器の共同利用などを実施。両市立病院は地域医療支援病院に指定されている。

出典：千葉県「保健医療計画（平成 30 年度～平成 35 年度）」「地域医療構想」より作成

【図表 19】両市立病院の 2030 年推計入院患者数

		病床数	2017年 1日当たり 入院患者数	2030年 1日当たり 入院患者数	2030年 想定病床 稼働率
病院名	病床区分	(床)	(人/日)	(人/日)	(%)
青葉病院	一般病床(感染症病床含む)	320	252	306	95.6%
	精神病床	60	36	32	53.3%
海浜病院	一般病床	293	184	196	66.9%

※ 2030 年 1 日当たり入院患者数は以下による単純推計であり、将来の診療科目の変更や在院日数等は考慮していない。

■ 推計方法

① 2015 年千葉市人口と 2014 年千葉県受療率より、2015 年千葉市推計患者数を算出

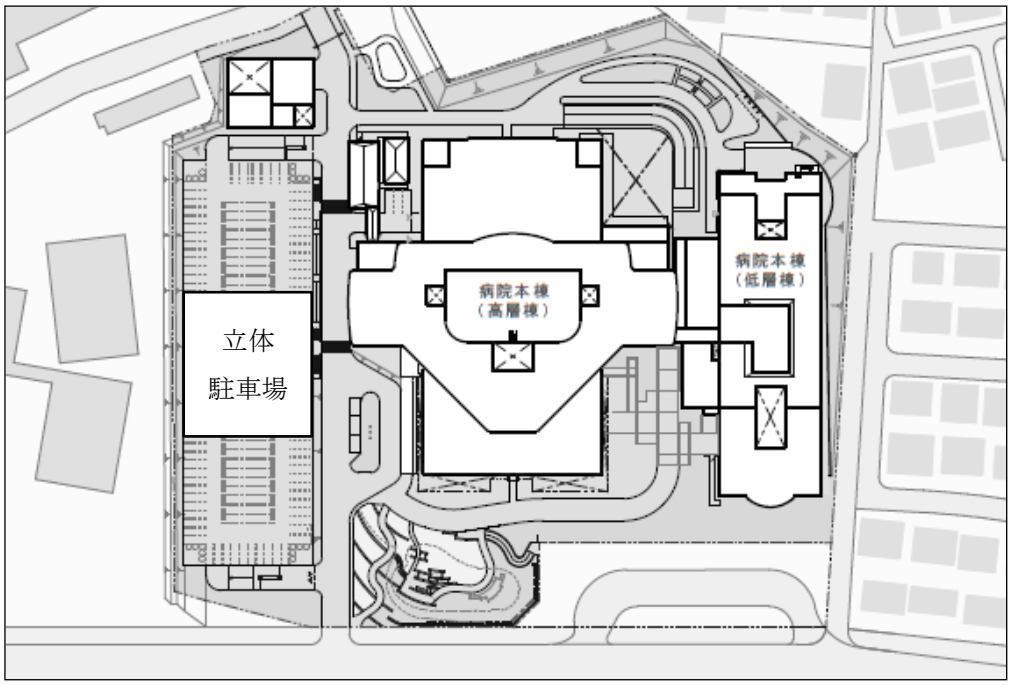
② 2030 年千葉市推計人口と、2014 年千葉県受療率より、2030 年千葉市推計患者数を算出

③ ①・②を用いて、2015 年と 2030 年の傷病別増減率を算出

④ ③で算出した傷病別増減率を 2017 年両市立病院の DPC 入院患者数に乗じ 2030 年 DPC 入院患者数を算出

⑤ ④で算出した DPC 入院患者数に 2017 年 DPC 対象患者数対全入院患者数比を乗じ全入院患者数を算出（青葉、海浜共に約 1.02）

【図表 20】青葉病院の敷地内配置図

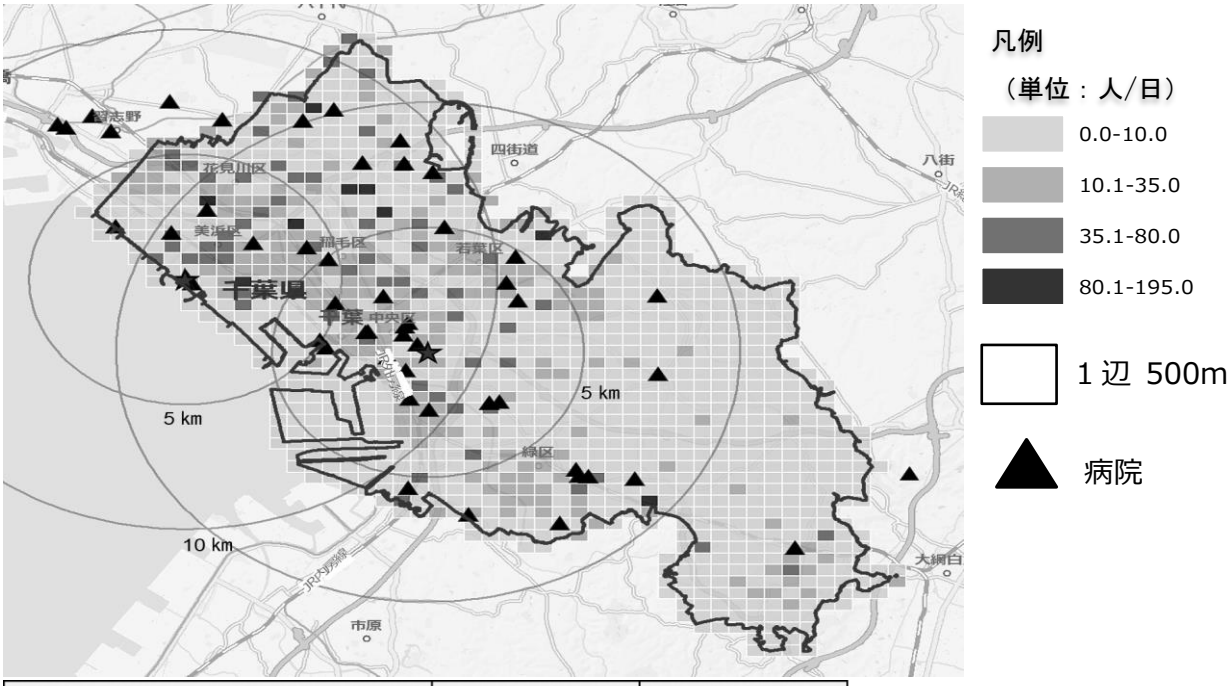


【参考】

病　院　名	青葉病院	海浜病院
竣　工　年	2002年	1984年
病　床　数	380床	293床
敷 地 面 積	約27,000㎡	約28,000㎡
延 床 面 積（駐車場等含まず　）	約29,000㎡	約18,000㎡
1床当たり面積	77㎡	62㎡

※2020 年以降竣工予定の政令市立病院　　1 床当たり面積：85～100 ㎡

【図表 21】2030 年における推計入院患者分布状況



区分		圏内推計入院患者数	病床数（一般＋療養）
青葉病院を中心とした地域	半径 5km圏	2,933人/日	4,185床
	半径10km圏	8,643人/日	7,329床
海浜病院を中心とした地域	半径 5km圏	2,699人/日	1,117床
	半径10km圏	9,566人/日	6,519床

※　2030 年将来推計患者数は、2030 年将来推計人口と 2014 年千葉県受療率より試算

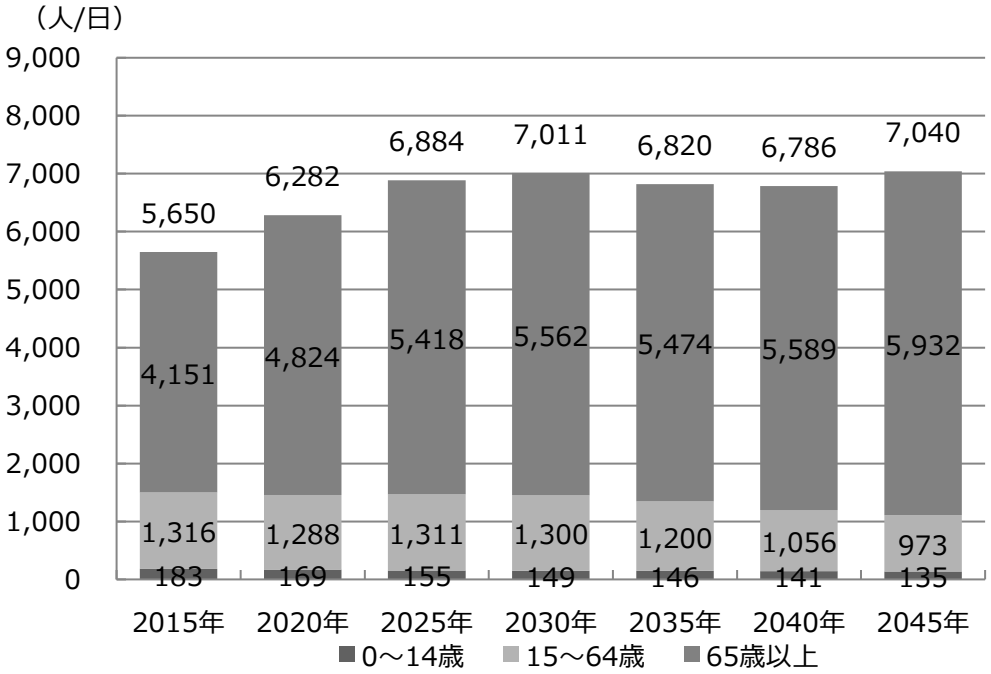
※　2030 年将来推計人口は、「Business　Analyst（ESRI ジャパン株式会社）」の推計値を利用

※　患者の分布状況を示すものであり、試算の簡便化のため、受療率の将来的な増減は見込んでいない。

※　圏内推計入院患者数は、対象となる同心円内かつ千葉市内のみの患者数を集計したものである。

病床数等の出典：関東信越厚生局　保険医療機関の届出受理状況（2019 年 3 月 1 日現在）

【図表 22】千葉市将来推計入院患者数（精神疾患を除く）



※　1999 年～2014 年までの千葉県受療率変動を踏襲し、その増減率が毎年 10%ずつ縮小して将来的に収束する設定

出典：千葉市「千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」、「厚生労働省　患者調査（1999～2014 年）」より作成

【図表 23】検討パターンの概要

千葉市の推計入院患者がピークとなる 2030 年以降を想定したパターン

パターンＡ　現状維持型（２病院維持）

・現在の海浜病院の機能を引き継いだ新病院を設置
・青葉病院の救急医療体制を維持しつつ、新病院でも救急医療体制を強化
・両病院ともに現状の機能（政策的医療や両病院の強みを生かした医療）を維持※
※将来患者数や医療資源の確保状況等から両病院で一部診療機能の整備・再編を行うことも想定

パターンＢ　集約型（２病院の機能を集約）

・青葉病院、海浜病院の機能を集約した新病院を設置
・救急医療体制は集約・強化
・政策的医療や現状の強みを生かした医療を維持

青葉病院の機能（建物は当面使用可能）
・周辺の医療機関の状況等を踏まえた市民ニーズへの対応
・今後不足する見込みの回復期機能への対応
⇒　新病院や周辺医療機関と分担・連携し、ポストアキュート、サブアキュート機能に重点

※ポストアキュート
急性期経過後に引き続き入院医療を要する状態
サブアキュート
重装備な急性期入院医療までは必要としないが、在宅や介護施設等において症状の急性増悪した状態

【図表 24】パターンイメージ（設定条件に基づくシミュレーション）

時間軸	パターン	A		B	B'（機能分担を図った場合）	
	病院区分	青葉病院（ア）	新病院（イ）	新病院（ウ）	青葉病院（エ）	新病院（オ）
2017年	a 1日当たり入院患者数	252人	184人			
	b 病床数(精神病床除く) 【 】は病床稼働率	320床 【79%】	293床 【63%】			
新病院稼働時（2020年代半ば）	c 病床数(精神病床除く)	320床（2017年・維持）	293床（2017年・維持）	560床～640床程度	300床程度（2017年・維持）	300床程度（2017年・維持）
2030年	d 1日当たり入院患者数	502人		500人程度	100人＋α	400人程度
	e	（306人）	（196人）			
	f 病床数(精神病床除く) 【 】は病床稼働率	320床 【96%】	293床 【67%】	560床 ～640床 【90%】 【78%】	200床未満	440床 ～510床 【90%】 【78%】

〈設定条件〉

- 今回のシミュレーションは、2017 年の両市立病院の入院患者数から 2030 年の入院患者数を推計し、その推計値に基づき以下の条件で一律に算出したもの。
- 将来の診療科目構成（救急医療体制強化も含む）や在院日数の短縮、立地等の影響は考慮していないため、実際に病院を設置する場合には、より詳細な検討が必要。

■ 2030 年 1 日当たり入院患者数

・（ア）、（イ）は 4 ページの推計値。（ウ）は（ア）と（イ）を合算したもの、（オ）は（ウ）から青葉病院入院患者のうち地域医療構想ガイドラインによる医療資源投入量の区分において、回復期、慢性期に相当する患者（100 人程度）を除いたもの。いずれも立地等は考慮していない。

- 病床数は、上記の患者数に対し、地域医療構想で想定する急性期の稼働率 78%と年間の繁忙状況や他急性期病院を参考に 90%で試算したもの。なお、将来の在院日数の短縮等は考慮していない。

・（エ）は、他病院の例を参考に 200 床未満と設定（地域包括ケア病棟運営病院の約 7 割が 200 床未満）。

■ 2030 年 医師数

・（ア）、（イ）は 2017 年の両病院の医師数を固定値とし、（ウ）は（ア）と（イ）を合算した。（エ）は市内類似病院の平均値（100 床当たり 9 人・29 年病床機能報告より）により算出し、（オ）は（ア）と（イ）の合計から（エ）を除いたもの

・いずれのパターンでも、青葉病院の精神科医 6 人は除いている。

■建築単価

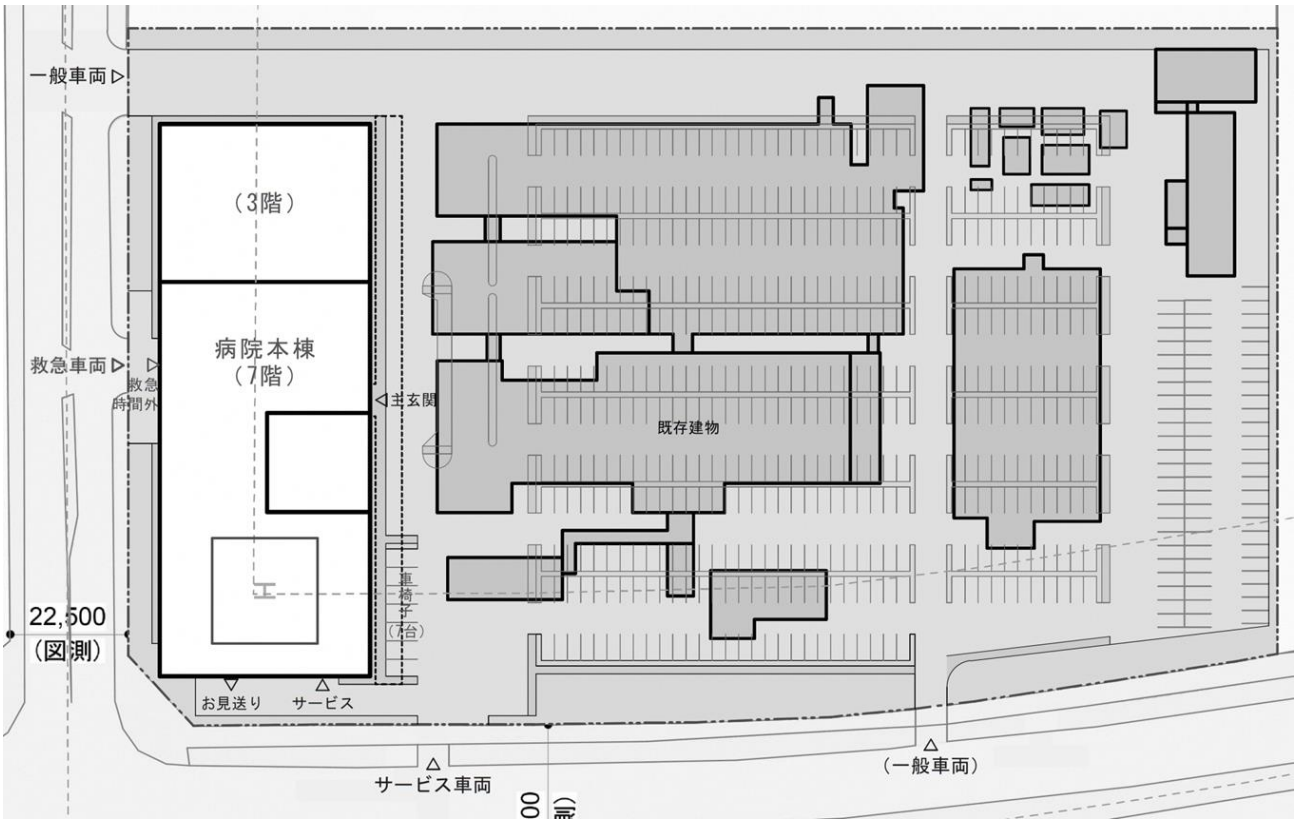
・病院事業債交付税措置上限額（36 万円/㎡）による試算

※いずれのパターンでも精神病床は別に40床程度と想定。各項目の試算値には加えていない。

【図表 25】海浜病院の老朽化対応手法の比較

	全面建て替え		大規模改修	
病院機能への影響	既存施設の診療制限等の影響無し ➢ 既存施設を運営しながら新たに施設を整備するため	○	既存機能が一部停止する ➢ 既存建物を一部閉鎖し、工事を行う必要があるため	×
病院機能の拡張性	想定する医療機能が提供可能な面積を確保できる	○	既存面積を維持することはできない ➢ 新たに設備盛替えスペースを設けるため	×
災害時の対応	災害時対応機能を強化 ➢ 免震構造が望ましい	○	免震構造とするにはコストと工期が膨大にかかる	×
工期	標準的な工期で建設完了 ➢ 延床面積が30,000㎡程度の病院事例では工期は約3年程度	○	工期が長期化 ➢ 工区を設定し順次工事を行うため ➢ アスベスト含有剤がある場合には処理対策が必要になり、工期はさらに長期化	×
収益の影響	原則影響はなし ➢ 別敷地に新たに整備する場合、現地で整備するよりもリスクが低い	○	減収のリスクがある ➢ 診療機能の制限が発生するため	×

【図表 26】海浜病院の 1 期工事の場合の整備イメージ



	敷地面積	延床面積	階層	病床数
現状	約 28,000 ㎡	約 20,500 ㎡	地上 7 階/地下なし	293 床
1 期工事分	約 28,000 ㎡	約 29,200 ㎡	地上 7 階/地下 1 階	288 床(※)

※病院本棟を 1 床当たり 100 ㎡で試算

【図表 27】各経営形態の特徴

区分	地方公営企業法（一部適用）	地方公営企業法（全部適用）	地方独立行政法人（公営企業型）	指定管理者制度	民間譲渡
設立団体	地方公共団体	地方公共団体	地方公共団体	地方公共団体	医療法人等
管理責任者	地方公共団体の長	管理者	理事長（法人の長）	指定管理者	医療法人等の長
政策的医療の確保	地方公共団体の事業として実施（一般会計から費用負担あり）	地方公共団体の事業として実施（一般会計から費用負担あり）	地方公共団体の定める中期目標に基づき実施（地方公共団体から費用負担あり）	地方公共団体との協定による	譲渡条件の協議による
職員の定数	条例で規定（定数上限あり）	条例で規定（定数上限あり）	中期計画（人件費の見積もり）	条例等による制限は特段ない	条例等による制限は特段ない
職員の身分・処遇	地方公務員（自治体職員）	地方公務員（企業職員）	法人職員に変更	民間労働者に変更	民間労働者に変更
財務運営	予算単年度主義 契約は地方自治法の適用あり	予算単年度主義 契約は地方自治法の適用あり	中期計画 契約は地方自治法の適用はない	法令等による制限は特段ない	法令等による制限は特段ない
長期資金調達	起債が活用できる	起債が活用できる	設立団体から借入	独自に資金調達	独自に資金調達
病院数	347 病院 ※1（2016 年度）	369 病院 ※1（2016 年度）	88 病院 ※2（2016 年度）	76 病院 ※1（2016 年度）	5 病院※1（2012～2016 年度までの譲渡数）

出典：総務省「2016 年度地方公営企業決算の概況（※1）」、
「2016 年度病院事業決算状況(地方独立行政法人)（※2）」より作成

２　両市立病院の概要

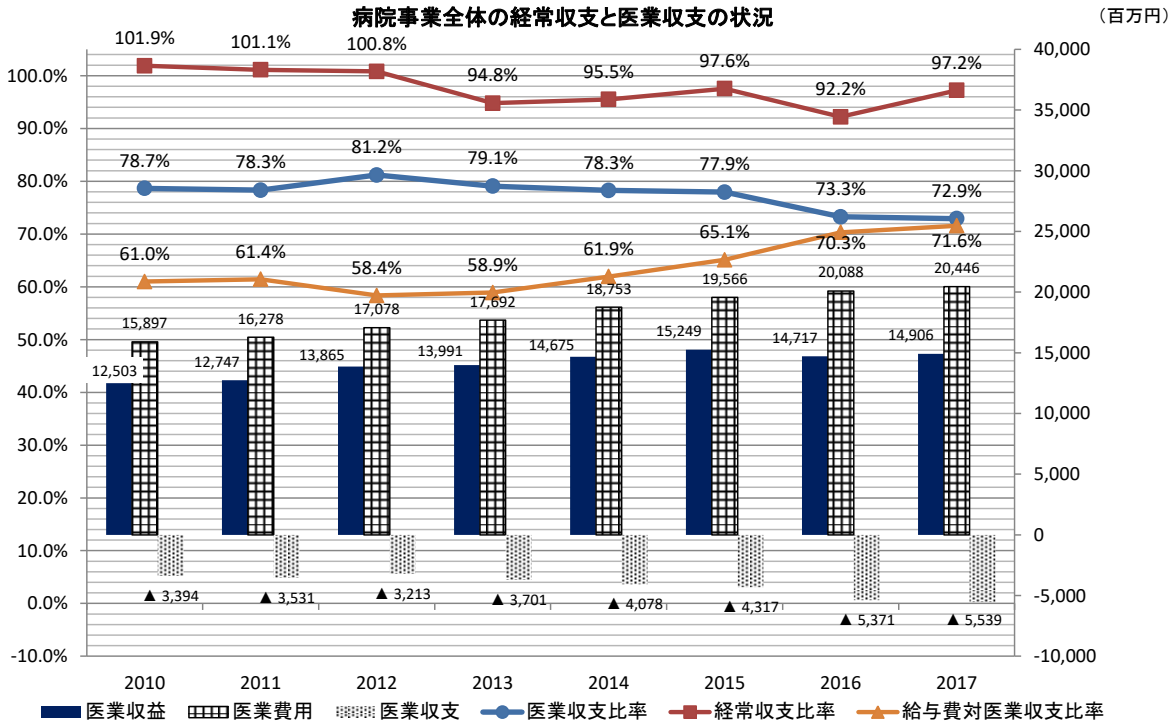
（１）千葉市立青葉病院

項　目		内　容　等		
開設年月日		平成 15 年 5 月 1 日 ※昭和 14 年　市立葛城病院として開設		
所在		千葉市中央区青葉町 1273 番地 2		
交通アクセス		JR 千葉駅よりバスで約 20 分		
土地面積		26,800.01 ㎡		
建物延床面積		33,284.69 ㎡（うち病院部分　29,200.12 ㎡）		
構造階数		鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 5 階建　/　新耐震基準		
病床数		380 床（一般 314、精神 60、感染症 6） ※2019 年 4 月 1 日より 369 床 （一般 307 床、精神 56 床、感染症 6）		
診療科目		内科　脳神経内科　呼吸器内科　消化器内科 循環器内科　糖尿病・代謝内科　小児科　外科 消化器外科　整形外科　眼科　耳鼻いんこう科 リハビリテーション科　麻酔科　病理診断科 精神科　血液内科　感染症内科　内分泌内科 リウマチ科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科 産婦人科　歯科　救急科　放射線科（全２７科）		
特徴		地域医療支援病院、地域災害拠点病院、 千葉県ＤＭＡＴ指定医療機関、在宅療養後方支援病院、 感染症医療、血液疾患、児童精神、緩和ケア		
H29 実績	平均在院日数	（一般）12.3 日　（全体）13.7 日		
	新規入院患者数	（一般）6,970 人　（全体）7,155 人		
	病床利用率	（一般）80.3%　（全体）75.8%		
	紹介率	68.2%	逆紹介率	79.9%
	医業収支比率	74.3%	経常収支比率	97.6%
	入院診療単価（一般）	63,155 円	外来診療単価（一般）	11,458 円
	入院診療単価（全体）	58,338 円	外来診療単価（全体）	10,960 円

（２）千葉市立海浜病院

項　目		内　容　等		
開設年月日		昭和 59 年 10 月 1 日		
所在		千葉市美浜区磯辺 3 丁目 31 番 1 号		
交通アクセス		JR 検見川浜駅よりバスで約 10 分		
土地面積		28,186.02 ㎡（千葉県有地・無償貸与）		
建物延床面積		20,458.82 ㎡（うち病院部分　18,155.77 ㎡）		
構造階数		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　７階建　/　新耐震基準		
病床数		293 床（一般）		
診療科目		内科　脳神経内科　呼吸器内科　消化器内科 循環器内科　感染症内科　糖尿病・代謝内科 内分泌内科　小児科　小児科（新生児） 小児外科　外科　消化器外科　乳腺外科 整形外科　形成外科　脳神経外科 心臓血管外科　泌尿器科　産科　婦人科 眼科　耳鼻いんこう科　リハビリテーション科 放射線治療科　放射線診断科　麻酔科　救急科 病理診断科（全２９科）		
特徴		地域医療支援病院、千葉県がん診療連携協力病院、 地域災害拠点病院、千葉県ＤＭＡＴ指定医療機関、 在宅療養後方支援病院、地域周産期母子医療センター、 地域小児科センター、放射線治療(リニアック)、 夜間応急診療		
H29 実績	平均在院日数	8.1 日		
	新規入院患者数	7,401 人		
	病床利用率	63.6%		
	紹介率	65.3%	逆紹介率	52.0%
	医業収支比率	71.0%	経常収支比率	96.7%
	入院診療単価	65,010 円	外来診療単価	12,632 円

（３）主要経営指標の推移


病院事業全体の経常収支と医業収支の状況
（百万円）
101.9%
101.1%
100.8%
94.8%
95.5%
97.6%
92.2%
97.2%
78.7%
78.3%
81.2%
79.1%
78.3%
77.9%
73.3%
72.9%
61.0%
61.4%
58.4%
58.9%
61.9%
65.1%
70.3%
71.6%
12,503
12,747
13,865
13,991
14,675
15,249
14,717
14,906
15,897
16,278
17,078
17,692
18,753
19,566
20,088
20,446
▲ 3,394
▲ 3,531
▲ 3,213
▲ 3,701
▲ 4,078
▲ 4,317
▲ 5,371
▲ 5,539
100.0%
90.0%
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
-10.0%
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
-5,000
-10,000
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017
医業収益
医業費用
医業収支
医業収支比率
経常収支比率
給与費対医業収支比率

（４）直近の診療状況

青葉病院

	医師数（2019.1月末時点）		1日当たり患者数（2018.4月～2019.1月）		新規患者数（2018.4月～2019.1月）	
		うち後期研修	入院	外来	入院	外来
内科（総合診療）	1	－	141.3	259.1	3,064	6,110
糖尿病・代謝内科	4	1				
内分泌内科						
神経内科	2	－				
呼吸器内科	3	－				
消化器内科	6	2				
循環器内科	5	2				
血液内科	5	1				
リウマチ科	2	1				
感染症内科	－	－	1.7	－	5	－
外科	4	－	16.5	33.1	563	459
消化器外科	1	－				
整形外科	11	2	54.2	137.1	1,138	2,562
脳神経外科	－	－	－	－	－	－
眼科	1	－	0.0	19.3	0	36
耳鼻いんこう科	2	－	4.8	17.6	187	397
皮膚科	2	1	3.5	39.9	113	854
泌尿器科	4	－	15.1	60.6	631	1,228
産婦人科	5	1	13.4	58.5	519	1,032
小児科	2	－	0.9	8.2	48	509
歯科	1	－	－	10.7	－	261
精神科（成人）	3	－	17.8	77.0	103	611
精神科(児童)	3	1	19.5		30	
救急集中治療科	3	1	－	－	－	－
麻酔科	4	－	－	－	－	－
放射線科	－	－	－	－	－	－
リハビリテーション科	2	－	－	143.5	－	－
病理診断科	1	－	－	－	－	－
臨床検査科	1	－	－	－	－	－
総計	78	13	288.7	864.6	6,401	14,059

◆ 初期研修医　18　人

海浜病院

	医師数（2019.1月末時点）		1日当たり患者数（2018.4月～2019.1月）		新規患者数（2018.4月～2019.1月）	
		うち後期研修	入院	外来	入院	外来
内科	2	－	13.4	26.8	366	1,687
糖尿病・代謝内科	1	－				
内分泌内科	1	－				
神経内科	－	－	－	1.3	－	32
呼吸器内科	－	－	0.2	2.5	4	134
消化器内科	8	1	26.8	54.1	1,053	1,411
循環器内科	4	－	10.5	41.9	432	773
感染症内科	1	－	－	0.3	－	38
外科	4	1	33.9	64.7	985	1,010
消化器外科	3	－				
乳腺外科	2	－				
整形外科	1	－	0.0	19.0	1	620
形成外科	1	－	0.7	8.2	39	403
心臓血管外科	－	－	－	－	－	－
脳神経外科	－	－	－	1.5	－	119
眼科	2	－	3.3	49.8	330	740
耳鼻いんこう科	4	1	9.8	44.1	453	1,453
泌尿器科	2	－	1.5	9.3	82	408
産科	7	2	21.3	38.7	615	749
婦人科	－	－	1.8	12.1	66	364
小児科	12	1	27.5	82.8	1,805	4,383
※他に非常勤後期研修医5人						
小児外科	1	－	0.7	3.9	53	234
新生児科	6	1	29.0	6.8	232	241
※他に非常勤後期研修医1人						
麻酔科	3	－	－	－	－	－
放射線治療科	－	－	－	5.8	－	100
放射線診断科	－	－	－	－	－	－
リハビリテーション科	－	－	－	0.1	－	－
病理診断科	1	－	－	－	－	－
総計	66	7	180.5	473.6	6,516	14,899

◆ 初期研修医　9　人

３　千葉市病院事業のあり方委員会の概要

（１）千葉市病院事業のあり方検討委員会設置条例（平成３０年６月２６日条例第３１号）

（設置）
第１条　本市は、千葉市病院事業のあり方検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。
（所掌事務）
第２条　委員会は、市長の諮問に応じ、病院事業のあり方に関する事項について調査審議し、市長に答申する。
（組織）
第３条　委員会は、委員１０人以内で組織する。
２　委員会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。
３　委員及び臨時委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が任命する。
４　委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
（任期）
第４条　委員の任期は、当該委員への任命があった日から所掌事務を終えるまでとする。
２　臨時委員は、その者の任命に係る当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。
（委員長及び副委員長）
第５条　委員会に委員長及び副委員長を置く。
２　委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
３　委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。
（会議）
第６条　委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
２　委員会は、委員及び臨時委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
３　委員会の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（関係者の出席等）
第７条　委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。
（委任）
第８条　この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

（２）千葉市病院事業のあり方検討委員会委員名簿

（敬称略、氏名五十音順）

氏　名	所　属　・　役　職　名　等	備考
いたくら　えりこ 板倉　江利子	公認会計士	
おがた　ひろや 尾形　裕也	九州大学　名誉教授	委員長
おぐま　ゆたか 小熊　豊	全国自治体病院協議会　会長	
きくち　まさお 菊地　端夫	明治大学経営学部公共経営学科　准教授	
さいとう　ひろあき 斎藤　博明	千葉市医師会　会長	副委員長
すなみ　しょうすけ 角南　勝介	成田赤十字病院　院長	
たかはら　よしはる 髙原　善治	船橋市病院事業管理者（船橋市病院局　病院局長）	
てらぐち　けいこ 寺口　惠子	千葉県看護協会　会長	
なかやま　しげき 中山　茂樹	千葉大学大学院工学研究科建築学コース　教授	
やまもと　しゅういち 山本　修一	千葉大学医学部附属病院　病院長	

（３）開催状況

開催日		回	主な議題
平成 30 年	12 月 27 日	第１回	・委員長・副委員長の選任 ・会議の公開及び議事録について ・千葉市病院事業のあり方検討委員会について ・千葉医療圏及び両市立病院の現状と課題について
平成 31 年	3 月 25 日	第２回	・今後提供すべき医療機能について
令和元年	6 月 4 日	第３回	・医療提供体制について
	7 月 22 日	第４回	・救急搬送の現状について ・答申原案について
	8 月 19 日	第５回	・答申案について